

日本化学会第91春季年会(2011)のご案内

第91春季年会実行委員会

会期	2011年3月26日(土)～3月29日(火)
会場	神奈川大学横浜キャンパス(〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1)
実行委員長	西村 淳(群馬大学・名誉教授)
日程と内容	3月26日(土): AP・受賞講演・特別企画・ポスター・展示会 3月27日(日): AP・ATP・受賞講演・ポスター・ATPポスター・展示会・会長講演・表彰式・懇親会 3月28日(月): AP・ATP・受賞講演・ポスター・ATPポスター・展示会・ATP交流会 3月29日(火): AP・ATP・受賞講演・特別企画
問合せ先	日本化学会 企画部 年会係 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 会期前 電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp 会期中 電話/FAX(045)481-5699 ※3月26日～3月29日 URL: http://www.csj.jp/nenkai/91haru/index.html

上記のとおり、日本化学会第91春季年会(2011)が開催されます。多くの会員の皆様が、本年会にご参加下さいますようお願い申し上げます。本号では、当日登録について、会期中併催のイベント・シンポジウム情報、特別企画・特別講演・学会賞・ATPのプログラムをご案内申し上げます。

1. 当日登録について

第91春季年会へ参加を希望される方は年会会場内の総合受付にて登録手続を行って下さい。参加登録費等は下表のとおりです。ただし、本誌P●～P●に掲載の併催イベントへの参加の場合、第91春季年会の参加登録は原則不要です。詳細は掲載ページにてご確認ください。

参加登録費

会員区分	料金	課税区分
正会員	14,500円	不課税
正会員割引*1	9,500円	〃
学生会員	5,500円	〃
学生会員割引*2	3,500円	〃
教育会員*3	6,500円	〃
ATP講演者(一般)	14,500円	課税
ATP講演者(非会員学生)	7,500円	〃
非会員	25,500円	〃
入会準備学部学生*4	2,000円	〃

*1 満60歳以上で定職に就いていない方(通称:シニア会員)

*2 学部3年以内の方(専攻科1年以下の高専生を含む)(通称:ジュニア会員)

*3 教育会員割引(化学と教育を購読する学生)も含む。

*4 研究発表を行わない非会員(未入会)の大学の学部学生及び高等専門学校(高専)の学生が対象。ただし、参加登録費に講演予稿集DVD-ROMは含まない。当日登録の際には学生証(コピー可)

をご提示下さい。

予稿集代・懇親会費

内容	料金	課税区分
予稿集(I分冊)	2,500円	課税
〃(第II～IV分冊)	各3,500円	〃
〃(4冊セット)	10,000円	〃
予稿集(DVD-ROM)	10,000円	〃
懇親会費(一般)	5,000円	〃
〃(学生)	2,500円	〃

* 予稿集I～IVの収録分野についてはウェブサイトにてご確認ください。

2. 携帯情報端末からのプログラム検索

携帯情報端末からの年会プログラム検索が可能です。キーワードによる検索や、講演の日時、会場別の表示などができます。以下のサイトにアクセスして下さい。

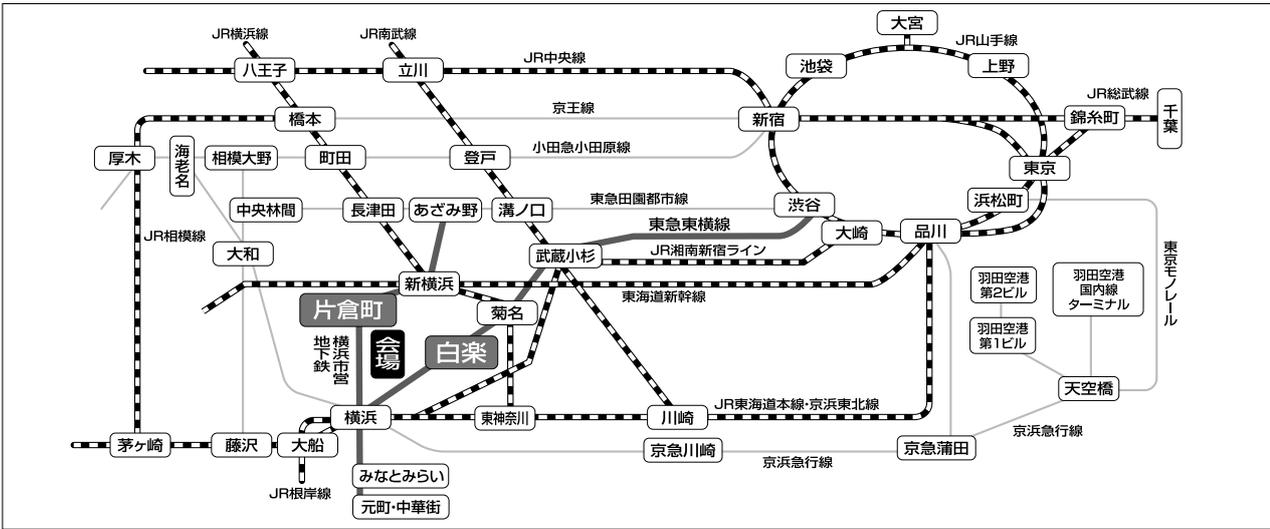
<http://csj.jp/i/>

二次元バーコード(QRコード)対応の携帯電話をお持ちの方は、以下のバーコードを撮影して、年会プログラム検索のWebページへアクセスすることが可能です。使用方法につきましては、各ページのヘルプメニューをご覧ください。なお、講演会場内では、携帯電話の電源はOFFにされますようお願い申し上げます。

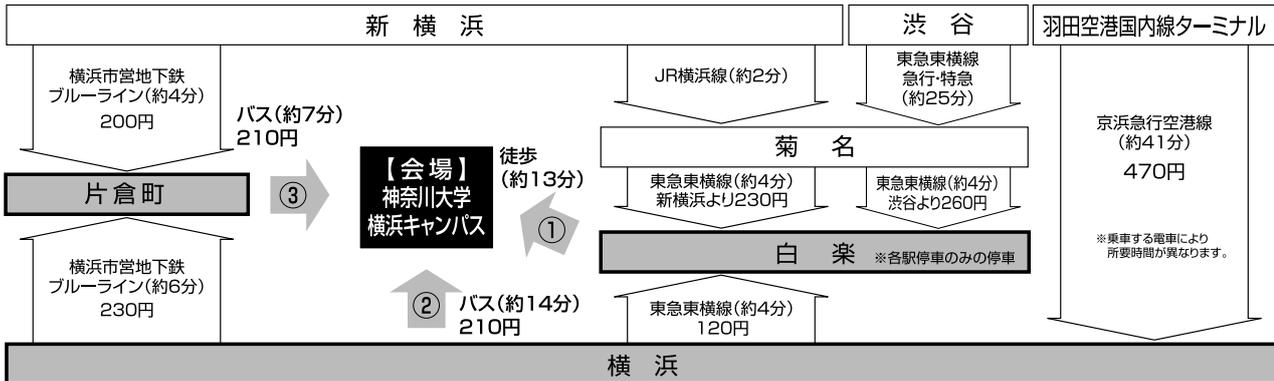


日本化学会 第91春季年会 神奈川大学 横浜キャンパス アクセスマップ

■主な路線図

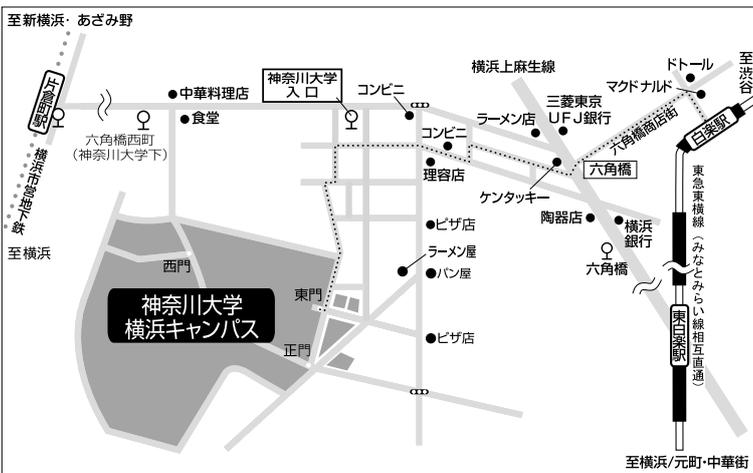


■主要駅・空港から会場への主なルート



- ① 東急東横線「白楽駅」下車 徒歩 13分
- ② 横浜駅西口バスターミナルからバスで約14分、「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車 徒歩5分
横浜市営バス(東神奈川駅西口経由)【1番乗場 36系統】菅田町/緑車庫行 または【1番乗場 82系統】八反橋/神大寺入口行
- ③ 片倉町駅前(横浜市営地下鉄)からバスで約7分、「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車 徒歩5分
横浜市営バス【2番乗場 36・82系統】東神奈川駅西口/横浜駅西口行

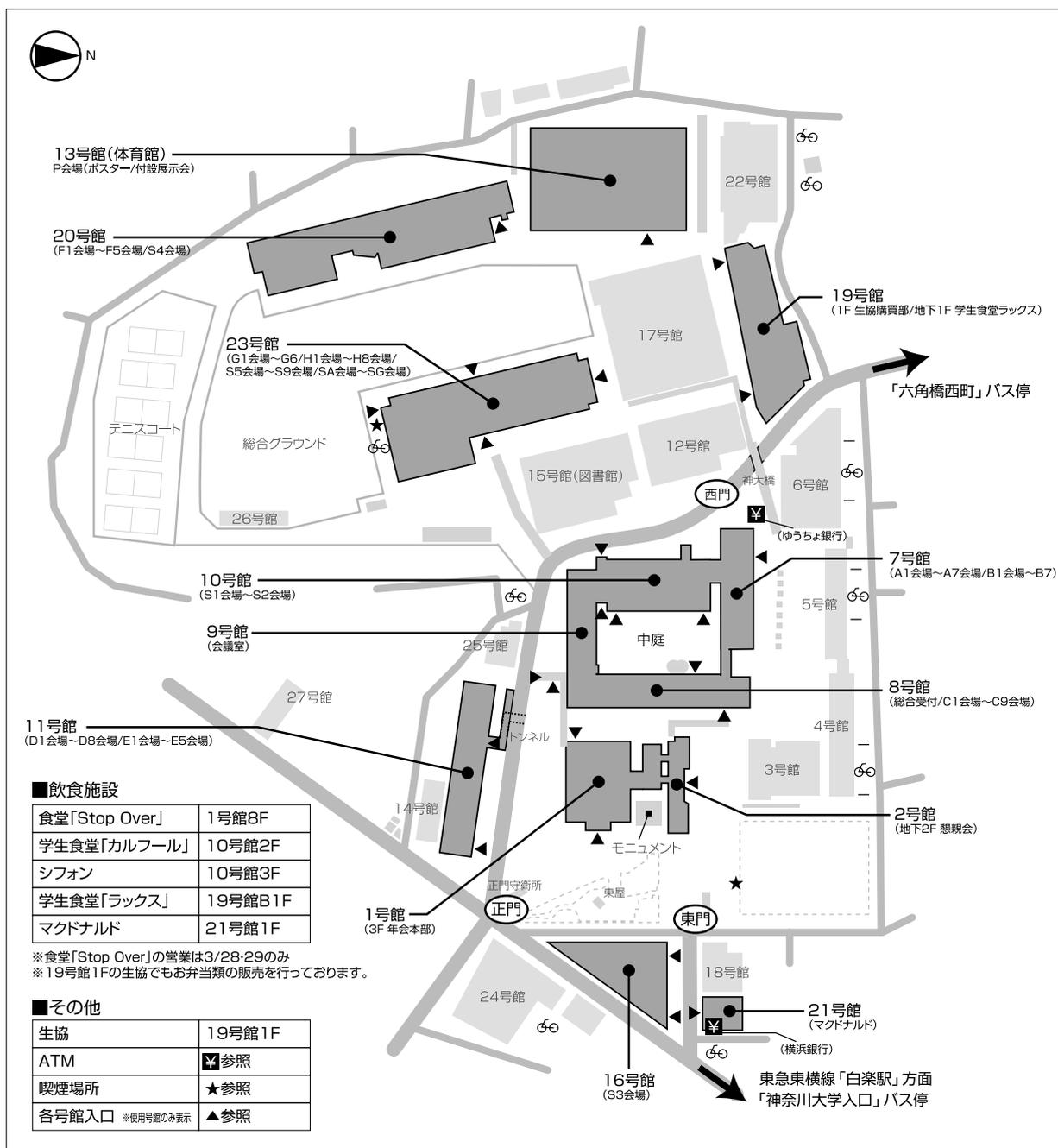
■会場周辺



■諸注意

- ・ キャンパス内に駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。
- ・ タクシーをご利用の場合、白楽駅からのご乗車はむずかしいため、横浜駅や片倉町駅などからご利用ください。
- ・ 上記の時間はあくまで目安です。交通所要時間は、余裕を持って想定してください。
- ・ 会場最寄駅では、券売機が混み合いますので、帰りのきっぷを先にご購入ください。

日本化学会 第91春季年会 神奈川大学 横浜キャンパス校舎配置図



会場案内

会場記号	号館
総合受付	8号館マップホール
クローク	8号館4F
印刷/試写コーナー	7号館4F
印刷/LANコーナー	23号館2F
S1・S2	10号館
S3	16号館
S4	20号館
S5～S9	23号館
SA～SH	23号館

会場記号	号館
A1～A7	7号館
B1～B7	7号館
C1～C9	8号館
D1～D8	11号館
E1～E5	11号館
F1～F5	20号館
G1～G6	23号館
H1～H8	23号館
P(ポスター/付設展示会)	13号館(体育館)

会場記号	号館
懇親会	2号館B2F
年会本部	1号館3F

日本化学会第91春季年会

建物名・フロア	教室名	会場記号	3月26日AM	P	3月26日PM	3月27日AM	P	3月27日PM	
1号館	3F	1-308	-		年会本部				
7号館	1F	7-13	A1	09.天然物	PC	09.天然物		09.天然物	
		7-14	A2	09.天然物	PC	09.天然物		09.天然物	
	2F	7-21	A3	06.錯体化学・有機金属化学	PB	06.錯体化学・有機金属化学			
		7-31	A4		PB	05.無機化学			
	3F	7-32	A5	06.錯体化学・有機金属化学	PB	06.錯体化学・有機金属化学			
		7-33	A6		PB	06.錯体化学・有機金属化学		06.錯体化学・有機金属化学	
		7-34	A7	06.錯体化学・有機金属化学	PB	06.錯体化学・有機金属化学			
	4F	7-41	B1	13.触媒				PC	13.触媒
		7-43	B2		PA	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー			
	5F	7-44	B3		PA	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー			08C.有機化学-複素環化合物
		7-51	B4	13.触媒				PC	13.触媒
		7-52	B5		PA	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー			
		7-53	B6		PA	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー			
		7-61	-	休憩室					
6F	7-63	B7		PA	10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー				
	マップホール	-	総合受付						
8号館	1F	8-13	C1	08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物					
		8-14	C2	08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物					
	2F	8-15	C3	08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物			08H.有機化学-ハイスループット合成		
		8-21	C4	08D.有機化学-ヘテロ原子化合物					
	3F	8-22	C5			08F.有機化学-有機光化学			
		8-23	C6	08B.有機化学-芳香族化合物					
		8-33	C7	08E.有機化学-有機金属化合物				08E.有機化学-有機金属化合物	
	4F	8-34	C8	08E.有機化学-有機金属化合物				08E.有機化学-有機金属化合物	
		8-35	C9	08E.有機化学-有機金属化合物				08E.有機化学-有機金属化合物	
10号館	4F	10-41	S1	学会賞受賞講演	市民公開講座	ノーベル賞化学賞講演			
		10-42	S2	学会賞受賞講演		ノーベル賞化学賞講演			
11号館	1F	11-11	D1	04.物理化学-反応					
		11-12	D2			04.物理化学-反応			
		11-13	D3						
	2F	11-21	D4	17.材料の応用			PA	17.材料の応用	
		11-22	D5	02.物理化学-構造					
		11-23	D6	16.材料の機能			PA	16.材料の機能	
		11-24	D7	15.材料化学			PA	15.材料化学	
		11-25	D8	07A.有機化学-構造と物性	PC	07A.有機化学-構造と物性			
	3F	11-32	-	休憩室					
		11-33	-	休憩室					
		11-34	E1	12.高分子			PB	12.高分子	
		11-35	E2	12.高分子			PB	12.高分子	
		11-36	E3		PC	07B.有機化学-反応機構		07B.有機化学-反応機構	
	4F	11-37	E4	07A.有機化学-構造と物性	PC	07A.有機化学-構造と物性		07A.有機化学-構造と物性	
11-413		E5	07A.有機化学-構造と物性	PC	07A.有機化学-構造と物性				
16号館	1F	201	S3		委)世界化学年パネル討論		会長講演・表彰式		
20号館	2F	20-201	F1	14.コロイド・界面化学			PC	14.コロイド・界面化学	
		20-202	-	休憩室					
	20-203	F2	14.コロイド・界面化学			PC	14.コロイド・界面化学		
	20-205	S4							
	20-208	F3	21.理論・情報・計算化学			PC	21.理論・情報・計算化学		
	20-210	F4	11.分析						
23号館	2F	23-201	S5/G1	企)分子配列制御と情報変換	企)ナノ分子デバイス			委)高次実在分子システム	
		23-203	S6/G2	企)生命現象解明の化学ツール	企)有機半導体・伝導体	中)次世代ナノバイオ		委)シングルサーベイヤ研究	
		23-204	-	休憩室					
		23-205	S7/G3	企)マイクロ波	企)化学空間の設計と制御	T4A-革新的省エネ・省資源プロセス	PB	T4A-革新的省エネ・省資源プロセス	
		23-206	S8/G4	企)ソフト界面若手講演会	企)エキゾチック自己組織化材料	T4B-資源を考慮した材料戦略	PB	T4B-資源を考慮した材料戦略	
		23-208	G5	19.エネルギーとその関連化学			PB	19.エネルギーとその関連化学	
	3F	23-209	G6				PA	22.有機結晶	
		23-301	S9/H1	企)化合物ライブラリー	企)低分子創薬へのいざない	中)ケミカルバイオロジー		中)生物無機化学最前線	
		23-303	SA					委)博士セミナー	
		23-304	SB/H2	01.化学教育・化学史	PA	01.化学教育・化学史		委)教育フォーラム	
		23-305	H3	20.環境・グリーンケミストリー, 地球・宇宙化学			PB	20.環境・グリーンケミストリー, 地球・宇宙化学	
		23-306	H4						
		23-307	SC/H5					中)不活性結合の活性化	
		23-309	SD/H6					中)プラズモン増強光化学反応	
23-310	SE/H7			18.資源利用		PB	18.資源利用		
23-311	SF/H8	委)化学遺産市民講座				PB	T5A-次世代蓄電技術		
13号館	1F	13-101	P	付設展示会/ポスター					
	2F	観覧席	-	休憩室					

●分類名の前の数字/記号…[01-22…アカデミック・プログラム],[T1-T6…ATP],[企…特別企画],[中…中長期テーマ],[委…委員会企画]
 ●会場記号…[企、中、委、理科実験]の実施時のみS1~SG会場として使用。それ以外はA1~H8会場として使用
 ●ポスター…体育館にて3月26日-28日の3日間で実施。時間帯はPA(10:00-11:30)、PB(12:30-14:00)、PC(15:00-16:30)の3種類 ※その他に 委)合同シンポ:光と太陽エネルギーのみ PD(18:00-20:00)

(2011) 日程表

2011/2/2

3月28日AM		P	3月28日PM		3月29日AM		3月29日PM		教室名	会場記号							
										1-308	-						
										7-13	A1						
										7-14	A2						
										7-21	A3						
09.天然物										7-31	A4						
										7-32	A5						
アジア国際シンポジウム(錯体/有機)										06.錯体化学・有機金属化学		7-33	A6				
										7-34	A7						
										7-41	B1						
										7-43	B2						
PC										08C.有機化学-複素環化合物		7-44	B3				
										10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー		7-51	B4				
アジア国際シンポジウム(生体/バイオ)										10.生体機能関連化学・バイオテクノロジー		7-52	B5				
										7-53	B6						
										7-61	-						
										7-63	B7						
										マップホール		-	-				
PB										08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物		8-13	C1				
PB										08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物		8-14	C2				
08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物										PB		08A.有機化学-脂肪族・脂環式化合物		8-15	C3		
										PC		08D.有機化学-ヘテロ原子化合物		8-21	C4		
PA										アジア国際シンポジウム(光化学)		08E.有機化学-有機金属化合物		8-22	C5		
08G.有機化学-有機電子移動化学										PC		08G.有機化学-有機電子移動化学		8-23	C6		
PA										アジア国際シンポジウム(有機化学)		08E.有機化学-有機金属化合物		8-33	C7		
PA										08E.有機化学-有機金属化合物		8-34	C8				
PA										08E.有機化学-有機金属化合物		8-35	C9				
										8-41と42		-	-				
委) 化学クラブ研究発表会												10-41	S1				
委) 化学クラブ研究発表会												10-42	S2				
PA										04.物理化学-反応		11-11	D1				
PA										03.物理化学-物性		11-12	D2				
PA										03.物理化学-物性		11-13	D3				
												11-21	D4				
PA										アジア国際シンポジウム(物理化学)		02.物理化学-構造		11-22	D5		
												11-23	D6				
												11-24	D7				
												11-25	D8				
												11-32	-				
												11-33	-				
												11-34	E1				
アジア国際シンポジウム(高分子)												11-35	E2				
07A.有機化学-構造と物性												11-36	E3				
												11-37	E4				
												11-413	E5				
委) 合同シンポ: 光と太陽エネルギー										PD		委) 合同シンポ: 光と太陽エネルギー		201	S3		
												20-201	F1				
												20-202	-				
												20-203	F2				
委) 第2回日中若手フォーラム												20-205	S4				
										アジア国際シンポジウム(理論化学)		20-208	F3				
PC										11.分析		20-210	F4				
												20-310	F5				
T2A-OLED												23-201	S5/G1				
T2B-電子ペーパー										企) 有機スピントロニクス		企) 低炭素エネルギー創製を支える光合成		23-203	S6/G2		
												23-204	-				
T4C-多様化する炭素資源										PB		T4C-多様化する炭素資源		23-205	S7/G3		
T6-未来志向の挑戦的バイオケミカルズ										PB		T6-未来志向の挑戦的バイオケミカルズ		23-206	S8/G4		
										アジア国際シンポジウム(電気化学)		19.エネルギーとその関連化学		23-208	G5		
										アジア国際シンポジウム(有機結晶)				23-209	G6		
T5C-次世代太陽光発電技術														23-301	S9/H1		
中) 材料化学構築学										委) 第11回男女共同参画シンポジウム		企) 持続可能な社会を支える化学		23-303	SA		
T3C-バイオミメティック材料										PB		T3C-バイオミメティック材料		23-304	SB/H2		
T3A-次世代フォトニクス材料														23-305	H3		
T3B-超分子素子を目指したプログラミング										PB		T3B-超分子素子を目指したプログラミング		23-306	H4		
T1C-自己組織化による微細パターン形成										PB		T1C-自己組織化による微細パターン形成		T1A-次世代リソグラフィ		23-307	SC/H5
T1B-ナノインプリント														T1全体(パネルディスカッション)		23-309	SD/H6
委) 日英ケミカルバイオロジー										企) 低次元無機有機複合系		企) 複合系光機能物質		23-310	SE/H7		
T5B-燃料電池・水素エネルギー技術										PB		T5B-燃料電池・水素エネルギー技術		企) 超分子触媒		23-311	SF/H8
														23-803	SG		
														13-101	P		
														観覧席	-		
3月28日AM		P	3月28日PM		3月29日AM		3月29日PM			会場記号							

会期中の併催イベント

ノーベル化学賞受賞記念講演会

日時：3月27日(日) 10:00-11:30
会場：S1 会場 (10号館 10-41 教室)

プログラム

10:00-10:05 会長挨拶

① 10:05-10:20 鈴木 章 (ビデオ講演)

② 10:30-11:30 根岸 英一

参加費：無料。年会参加登録者に限る。

申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込み不要。直接会場へお越し下さい。※S2会場(10-42教室)にもS1会場の映像及び音声を流します。なお、S1会場は定員(約500名)になり次第締め切ります。

会長講演・表彰式

日時：3月27日(日) 13:40-15:20
会場：S3 会場 (16号館セレストホール)
13:40-14:10 会長講演「知の統合と細分化における科学の夢と化学のプレゼンス」平成22、23年度会長 岩澤 康裕
14:20-15:20 表彰式

スプリングコンサート2011

日時：3月27日(日) 16:00-17:00
会場：S3 会場 (16号館セレストホール)
化学オーケストラ：日本化学会会員を中心に、広く化学関係者で2002年に結成された団体で、日本化学会春季年会会期中に「スプリングコンサート」を毎年開催しています。今回は、誰もがよく知っている楽しいクラシック音楽をご用意し、春らしさを満喫していただきます。
曲目：モーツァルト/歌劇「フィガロの結婚」序曲、ブラームス/ハンガリー舞曲集、ビゼー/歌劇「カルメン」第一組曲、J. シュトラウスⅡ/美しく青きドナウほか。
参加費：無料

懇親会

日時：3月27日(日) 18:00-20:00
会場：2号館地下演習室 (神奈川大学横浜キャンパス内)

今回の懇親会では世代を超えて各界各層の懇談の場とするべくより実質的な企画となっております。先生方におかれましては学生参加費は低く抑えておりますので、ぜひ一緒にご参加いただけますと幸いです。

参加費：一般5,000円、学生2,500円

申込方法：年会会場内の総合受付にてお申し込み下さい。

ATP 交流会

Advanced Technology Program 2011

化学の『夢』を共有し実現する出会いの場：『ATP』を
みんなで育て、革新的な成果に繋がる新たなシーズを育もう!

- 産学の将来の夢とニーズを紹介!
- 将来の夢に繋がり得る最先端シーズを提供!
- “シーズとニーズの出会い”および“異分野の人との出会い”により加速される“深化”と“進化”そして“新化”への新たな展開!
- 仕上げはのどをうるおしながら、次につながる交流を!

日時：3月28日(月) 18:00-19:30
会場：19号館地下1階 LUX (神奈川大学横浜キャンパス内)

ATP講演会場やポスター会場でのディスカッションや交流をフォローアップする場として、「もっと突っ込んだディスカッションをしたい」、「今後の協働の可能性を確認したい」、「人脈を広げたい」といった皆様のために、ATP交流会を開催します。今回は会場内にATPポスター発表を併設し、ドリンクや軽食片手にフランクな雰囲気の中で発表内容を見ながらのディスカッションや交流もできます。異業種間や産官学間の交流やネットワーク形成につながる絶好の機会ですので、奮ってご参加下さい。イノベーション創出に向けたシーズとニーズ、そして将来の共同研究や事業展開など、のどをうるおしながら大いに語り合いたしましょう。

参加費：無料

申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込み不要。直接会場へお越し下さい。

目指せ未来の科学者 ～やってみよう! 理科実験～

日時：3月26日(土)
1) 10時, 2) 11時30分, 3) 13時10分, 4) 14時40分
会場：SG 会場 23号館8階実験室

日本化学会第91春季年会(2011)実行委員会では、小・中学生に化学の面白さを発見してもらえるように本企画を設けました。普段何気なく使用している日用品を用いた実験を通して、化学を身近なものに感じてもらえる内容となっております。会員各位ご関係の方に是非ご参加をお勧め下さい。

プログラム

① 10:00-11:00 実験内容 A

② 11:30-12:30 実験内容 B

③ 13:10-14:10 実験内容 A

④ 14:40-15:40 実験内容 B

※実験内容

A:「シャボン玉を浮かべてみよう!」&「水の上を動く紙船」

B:「冷却パックを作ろう!」&「身近なものを使った水の電気分解」

対象：小学生・中学生

参加費：無料ですが、完全予約制となっております。

申込方法：「3/26 理科実験」と題記し、希望時間帯(第3希望まで)・氏名・学年・住所・電話番号を明記の上、FAXもしくはE-mailにてお申し込み下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 理科実験担当者

電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

市民公開講座 ～科学者たちの未来への挑戦～

日時：3月26日(土) 13:15-17:00
会場：S1 会場 10号館 10-41 教室

日本化学会第91春季年会(2011)実行委員会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を下記の内容で企画いたしました。今回も市民の方々の生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、十分楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

プログラム

- 13:20-14:10 宇宙での生命科学実験—過去・現在・未来—
(東大・名誉教授) 浅島 誠
- 14:10-15:00 史上最大の新興スタチンはこうして生まれた
(バイオファーム研究所・所長) 遠藤 章
- 15:20-16:10 顔学への招待—コンピュータで探る顔の秘密—
(東大名誉教授/日本顔学会会長) 原島 博
- 16:10-17:00 マラリア対策用オリセットネット(蚊帳)
(住友化学農業化学品研究所) 伊藤高明

参加費：無料。※お土産あり(最終講演後にお渡し予定)

申込方法：事前申込み不要。当日会場にて受付。

問合せ先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

付設展示会

主催：(社)日本化学会

協力：(株)化学工業日報社

後援：日本科学機器団体連合会・(社)日本分析機器工業会・
日本薬科機器協会・(社)日本試薬協会

日時：3月26日(土)～28日(月) 10:00-17:00

会場：13号館

参加費：無料

出展社：(1月20日現在)

RSC(英国化学会)、(株)IDX、朝日分光(株)、アジレント・テクノロジ(株)、アステック(株)、アドバンスソフト(株)、(株)アドバンテージ・サイエンス、(株)アントンパール・ジャパン、インフォコム(株)、米国法人 Wavefunction, Inc.、ウシオ電機(株)、エーエムアール(株)、(有)エービーエフ、(株)エヌ・ティー・エス、NPG ネイチャーアジア・パシフィック、(有)MFC テクノロジー、(有)エル・エイソフト、(株)エル・エム・エス、エルゼビア・ジャパン(株)、オーシャンフォトニクス(株)、大塚電子(株)、オックスフォード大学出版局、オプトシリウス(株)、化学オリンピック日本委員会、(独)科学技術振興機構、(株)化学工業日報社、(社)化学情報協会、(株)化学同人、カクタス・コミュニケーションズ(株)、関東化学(株)、(有)桐山製作所、クツワ産業(株)、グレースジャパン(株)、(株)グローブボックス・ジャパン、(株)講談社、光明理化学工業(株)、コクヨ S & T(株)、コニカミノルタセンシング(株)、コバレントマテリアル(株)、コンフレックス(株)、サイバネットシステム(株)、サンユー電子(株)、シーティーシー・ラボラトリーシステムズ(株)、シグマアルドリッチジャパン(株)、四国計測工業(株)、システム・インスツルメンツ(株)、柴田科学(株)、ジャパンハイテック(株)、純正化学(株)、シリシジャパン(株)、(株)スギヤマゲン、(株)セントラル科学貿易、ダイセル化学工業(株)、田中貴金属工業(株)、WDB(株)、(株)中央理化、(株)デジタルデータマネジメント、(株)テンキューブ研究所、(株)東京インスツルメンツ、(株)東京化学同人、東京化成工業(株)、東京工業大学 男女共同参画事業、東京書籍(株)、トムソン・ロイター・プロフェッショナル(株)、ナカライテック(株)、名古屋工業大学 大型設備基盤センター、日機装(株)、(社)日本化学会 学術情報部、(社)日本技術士会 化学部会、日本電子(株)、日本分光(株)、日本分析工業(株)、ノーザンサイエンスコンサルティング(株)、(株)バイオクロマト、(株)バキューブランドサイエントフィックジャパン、パシフィック横浜、浜松ホトニクス(株)、ビー・イー・エス(株)、ヒドラス化学(株)、(株)ヒューリンクス、富士シリシア化学(株)、富士通(株)、マイルストーンゼネラル(株)、丸善(株)卸営業部、丸善出版(株)、(株)美和製作所、山善(株)、ユサコ(株)、(株)UNICO、(株)ユニソク、(財)横浜観光コンベンション・ビューロー、(株)ライトストーン、(株)リガク、

(株)菱化システム、(株)レッチェ、(株)ワイエムシー、ワイリー・ジャパン、和光純薬工業(株)、渡辺化学工業(株)

企業の活発な研究活動紹介

主催：(社)日本化学会会員委員会

日時：3月26日(土)～28日(月) 10:00-17:00

会場：13号館

参加費：無料

会員委員会では、年会参加者(特に学生会員)へ本会法人正会員の概要・研究の内容を知ってもらう機会を設けるため、付設展示場内に企業紹介ブースを設置いたします。

出展社：(1月20日現在)

旭化成(株)、味の素(株)、(株)アドバンテージ・サイエンス、宇部興産(株)、クミアイ化学工業(株)、住友化学(株)、星光PMC(株)、ダイセル化学工業(株)、ダイソー(株)、日産化学工業(株)、(社)日本化学会 会員委員会、日本化学工業(株)、(社)日本化学工業協会、日本合成化学工業(株)、東レ(株)、有機合成薬品工業(株)

世界化学年記念シンポジウム 「化学が未来をリードする条件は？」

主催：日本化学会

日時：3月26日(土) 13:30-16:45

会場：S3 会場 セレストホール (16号館)

世界化学年を記念して春季年会の初日に公開シンポジウムを開催する。世界化学年の統一テーマ“Chemistry—our life, our future”を受けて、「化学が未来をリードする条件は？」と題して、野依良治理事長と小林喜光三菱ケミカルホールディングス社長に基調講演をお願いする。その中で、学と産それぞれの立場から、我が国の化学をより深化させ、社会のニーズに応じてゆくために何が必要であるのか、幅広い視点からの問題提起をしていただく。さらにその後、数名の当会論説委員を加えてパネル討論を行い、問題をさらに掘りさげ、それらの解決策を模索する。

プログラム

- 開会挨拶 岩澤康裕(日本化学会会長)
- 基調講演①：小林喜光(世界化学年日本委員会委員、三菱ケミカル HD 社長)
座長：千葉泰久(日本化学会副会長、IYC 委員会委員長)
- 基調講演②：野依良治(世界化学年日本委員会委員長、理化学研究所理事)
座長：巽 和行(IUPAC 副会長、名古屋大学教授)
- パネル討論会「テーマ：化学が未来をリードする条件は？」
パネリスト：野依良治、小林喜光、橋本和仁(本会論説委員、東京大学教授)、小出五郎(本会論説委員、科学ジャーナリスト)、岩瀬公一(本会論説委員、内閣府大臣官房審議官)
司会：村井真二(本会論説委員長、奈良先端科学技術大学院大学理事・副学長)
- 閉会挨拶 千葉泰久(日本化学会副会長、IYC 委員会委員長)

参加費：無料。

申込方法：「世界化学年記念シンポジウム」参加希望と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX・E-mailを明記のうえ、E-mailまたはFAXにて下記宛お申し込み下さい。当日参加も可能です。

問合せ先：(社)日本化学会 学術情報部 田中

電話(03)3292-6165 FAX(03)3292-6319

E-mail: tanaka@chemistry.or.jp

2011世界化学年記念 「第5回化学遺産市民公開講座」

企画：日本化学会化学遺産委員会

主催：日本化学会・化学史学会

共催(予定)：日本化学工業協会・化学技術戦略推進機構

日時：3月26日(土) 10:30-16:45

会場：SF 会場 23号館 311 教室

化学遺産委員会では、平成21年度より化学関連の学術遺産あるいは化学技術・産業遺産の中で特に歴史的に高い価値を有する貴重な資料を認定する『化学遺産認定制度』を開始し第1回として6件を認定いたしました。平成22年度は新たに化学遺産認定候補を一般市民や会員諸氏より公募するとともに、委員会として認定候補に相応しいと思われるものを選び、対象候補十数件を調査いたしました。今回の市民公開講座では、世界化学年を記念して、化学史に関する映画を上映するほか第2回化学遺産として認定された下記内容を中心にご紹介いたします。お誘いあわせの上ふってご参加下さい。

プログラム

(総合司会：若林文高委員)

開会挨拶・事業紹介 (10:30-10:40)

「日本化学会化学遺産委員会事業のいま、これから」

(化学遺産委員会委員長/岡山理大教授・京大名譽) 植村 榮
化学史映像編1 (担当：新井和孝委員・内田正夫委員)

①映像「化学語り部：芝 哲夫先生を偲んで」(10:40-11:05)

②映画「洪庵と1000人の若者たち」(11:05-12:00)

基調講演「日本はなぜ出遅れたか、どうして追いついたか」(13:05-13:45)

(座長：伊藤 卓委員) (化学遺産委員会顧問/東工大名譽) 山本明夫

化学史映像編2 (担当：新井和孝委員・内田正夫委員) (13:45-14:45)

③映画「さくら さくら：サムライ化学者高峰讓吉の生涯」(ダイジェスト版)

④映画「アンビション (志)：化学者池田菊苗」(ダイジェスト版)

⑤記録映画「セルロイドの話」

講演1 (座長：内田正夫委員)

「認定化学遺産：日本最初の化学講義録一冊百舎密書 (ボンベ化学書)と幕末の化学者川本幸民の遺業」(15:00-15:40) (青山学院女子短大教授) 八耳俊文

講演2 (座長：亀山哲也委員)

「認定化学遺産：日本の板ガラス工業の発祥とその歴史的意義」(15:40-16:10) (化学遺産委員会委員/日本化学会フェロー) 田島慶三

講演3 (座長：新井和孝委員)

「認定化学遺産：日本のセルロイド工業の発祥とその歴史的意義」(16:10-16:40) (ダイセル化学工業(株)研究統括部調査・情報グループリーダー) 吉兼正能

閉会挨拶 (16:40-16:45) (化学遺産委員会顧問/(株)トクヤマ相談役) 三浦 勇一

参加費：無料。講演会資料代 (予備)：1,000円 (当日徴収)。

申込方法：化学遺産市民公開講座参加希望と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX、E-mailを明記しE-mailで下記宛お申し込み下さい。当日参加もできます。

問合せ先：101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

(社)日本化学会 企画部 太田

電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318

E-mail: oota@chemistry.or.jp

ケミカルレコード・レクチャー The Chemical Record Lecture 2011

主催：日本化学会・Wiley-VCH

日時：3月26日(土) 13:40-14:30

会場：F5会場 (1F5-29) 20号館 20-310

日本の化学関係8学協会の雑誌として刊行した総合論文誌“The Chemical Record”が、2011年より日本化学会の雑誌としてリニューアルすることとなりました。Wiley-VCHとの本格的な提携によりインパクトファクターも着実に向上しており、山本編集委員長による新しい編集体制の下、本年も年会時にTCR Lectureを開催いたしますので、多くの皆様のご参加をお願いいたします。

プログラム

13:40-14:30 Non-Covalent Synthesis of Complex Supramolecular Systems, Prof. Dr. E. W. Meijer (Institute for Complex Molecular Systems, Eindhoven Univ. of Technology)

参加費：無料 (年会登録者に限る)

申込方法：事前申込み不要です、当日直接会場にお越し下さい。

問合せ先：(社)日本化学会 学術情報部 TCR係

電話(03)3292-6165 FAX(03)3292-6319

シングルセル解析による 生命科学の新潮流

日時：3月27日(日)

会場：S6会場 23号館 203教室

生命科学分野の解析技術はここ10年で飛躍的な進歩を遂げている。これらの先端技術を駆使することによって未知なる細胞機能が明らかになってきた。その中から、細胞個々に特性があることが見いだされ、シングルセルの生物学の必要性が指摘されている。

本企画では、シングルセルバイオロジーに必要な、化学、工学、生物学等の幅広い分野の先生方に、シングルセル解析技術の現状と展望、さらにはアウトプットの側面から、シングルセル解析による医学、生物学研究の進展に関して報告していただく(シングルサーベイヤ研究会共催)。

プログラム

13:30-13:50 はじめに 竹山春子 (早大理工)

13:50-14:20 神原秀記 ((株)日立製作所中央研究所)

14:20-14:50 浜地 格 (京大院工)

14:50-15:20 植田充美 (京大院農)

15:20-15:50 民谷栄一 (阪大院工)

15:50-16:20 松永 是 (東農工大)

16:30-16:50 落谷孝広 (国立がん研究センター研究所)

16:50-17:10 岸裕 幸 (富山大院医)

17:10-17:30 竹山春子 (早大理工)

詳細は <http://kanto.chemistry.or.jp/menu/ev/singlecell.html> をご覧下さい。

高次実在分子システムのための 分子科学：実験と理論による 機能発現の分子論的理解

日時：3月27日(日)

会場：S5会場 23号館 201教室

分子系→超分子系→分子集合系→組織系→生命系という物質の階層構造に呼応して化学のフロンティアは高次側へと拡がり、複雑系の機能の解明と創出に向かっている。生体で代表される高い機能を発現する高次複雑系では、複数の分子が協調的に連動することで極めて効率よく精緻な機能が実現されており、この高次複雑系機能のメカニズムを分子論的に解明することは21世紀の化学が担う大きな命題である。

そこで、高次分子システムに対する研究の現状とその展望を論じる先端ウォッチングを提案する。ここでは分子科学とその関連分野で発達した計測技術と素過程の研究手法論による高次実在分子システムの測定成果や新たな方法論と、実在分子系の高次機能を解明するための最新の分子科学理論を概観し、複数の分子が協調的に機能している分子システムを理解するための分子科学の基礎を討論する。

プログラム

13:00-13:10 趣旨説明 (東工大資源研) 藤井正明

13:10-13:30 気相とバルクをつなぐ大サイズクラスターの分光研究 (東北大院理) 藤井朱鳥

13:30-13:50 水素結合ネットワークのダイナミクス (九大院理) 関谷 博

13:50-14:10 生体分子の気相分光法の開発と分子認識機構へのアプローチ (東工大資源研) 藤井正明

14:10-14:30 大分子・ナノクラスターの構造特異的化学反应の解明に向けて—イオン移動度質量分析の可能性 (東北大院理) 美齊津文典

14:45-15:05 新しい非線形分光で明らかになる界面の水 (理研) 田原太平

15:05-15:25 界面分光の理論と実験—協力的体制が拓く界面化学 (東北大院理) 森田明弘

15:25-15:45 プロブ顕微鏡で液体構造を観る (神戸大院理) 大西 洋

15:45-16:05 量子化学と統計力学に立脚した高次系の分子理論 (京大院工) 佐藤啓文

16:05-16:25 一分子分光によるタンパク質分子へのアプローチ
(東工大物理) 松下道雄
16:40-17:00 構造変化が生み出すタンパク質機能:理論からのアプローチ
(東大分生研) 北尾彰朗
17:00-17:20 タンパク質内エネルギー散逸の時空間マッピング
(阪大院理) 水谷泰久
17:20-17:40 タンパク質反応ダイナミクスの分子シミュレーション
(京大院理) 林 重彦
17:40-18:00 P型イオンポンプによる能動輸送機構のシミュレーション解析(理研) 杉田有治
18:00-18:30 総合討論

企業で活躍する博士たち

主催:(社)日本化学会産学交流委員会産学人材交流 WG
日時:3月27日(日) 13:00-17:30
会場:SA 会場 23号館 303教室

科学技術で生き残りを図る日本において、科学技術を推進する原動力、イノベーションの担い手として、学においても産においても高度な知識と研究開発力を持った博士人材が非常に期待されています。一方で、博士課程在籍生に企業・社会を実際に学ぶ機会が少なく、産に目を向ける場が少ないのが実情です。また、産においても博士の活用が敷居が高い企業はまだあります。日本化学会では、平成19年度より、化学系学生を対象に「博士セミナー」を開催し、産業界をもっと知ってもらおう試みを行ってきました。今回は、企業の中で活躍する博士たちを紹介することで、より一層産業界での博士の活躍の場を増やしたいと考えております。

なお、セミナーの対象者は、博士課程在籍者、博士課程進学希望の修士課程在籍者、ポスドク研究者及び博士セミナーに関心をお持ちの産学官の皆様とともに、博士の採用を検討している企業関係の方を考えています。

プログラム

13:00-13:30 博士研究者に対する期待(産学人材交流 WG 主査, 東レ) 長瀬公一
13:40-14:40 企業研究の醍醐味(福井工大教授(元旭化成)) 府川伊三郎
14:50-17:20 企業の博士研究者による研究開発事例紹介とパネル討論
司会:出口尚安(産学人材交流 WG 委員, 富士フィルム)
パネリスト:(味の素) 黒澤 渉, (住友化学) クナッパ カロス, (ブリヂストン) 大月正珠, (東レ) 滝澤聡子, (富士フィルム) 谷口雅彦
17:20-17:30 総括(産学人材交流 WG 副主査, 住化技術情報センター) 佐々木俊夫

参加費:無料。

申込方法:事前登録不要。当日会場にて受付。

問合せ:(社)日本化学会 企画部 松原
101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5
電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318
E-mail: matsubara@chemistry.or.jp

第18回化学教育フォーラム 実験を主体とした普及交流活動 ～様々な立場からの提案～

主催:日本化学会化学教育協議会
日時:3月27日(日) 13:00-16:30
会場:SB 会場 23号館 304教室

実験を主体とした化学の普及交流活動を行っている、様々な立場の団体やグループの実践を踏まえた提案から、その問題点と展望を共有し、今後の普及交流活動のあるべき姿を探りたい。そこで、NPO法人、大学の活動、企業や企業をリタイアされた方が活動している団体などがどのような理念に基づき、活動・運営を行っているのかご講演いただく。質疑応答では聴講者からの質問を受け活発な意見交換を行いたい。

プログラム

1. 開会の挨拶(化学教育協議会議長) 下井 守

< 13:05-14:35 >

2. 科学技術振興のための教育改革支援計画(SSISS)～その狙い・現状・展望～(SSISS 理事長・東京大学名誉教授) 大木道則
3. 自然ふしぎ体験理科実験教室(東京学芸大学) 鎌田正裕
4. 教育委員会と連携しよう!～授業案を体験型にするチャレンジ～(NPO 法人体験型科学教育研究所理事・事務局長) 古川 和

< 14:50-15:50 >

5. 日立理科クラブの紹介(NPO 法人日立理科クラブ代表理事) 佐藤一男
 6. 東レの出前実験教室(マーケティング企画室) 金森麻理子
- < 16:00-16:30 >
7. 質疑応答 司会(普及・交流委員会副委員長) 若林文高
 8. 閉会の挨拶(普及・交流委員会委員長) 齊藤幸一

参加費:無料。

申込方法:事前申込み不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ:(社)日本化学会 企画部 大倉
101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5
電話(03)3292-6164 FAX(03)3292-6318
E-mail: ohkura@chemistry.or.jp

第28回化学クラブ研究発表会

主催:日本化学会関東支部

後援:文部科学省

日時:3月28日(月) 9:40-17:20(予定)

会場:S1・S2 会場 10号館(10-41/10-42 教室)

当支部では化学振興事業の一環として、中学校・高等学校の化学クラブや理科クラブの化学に関係ある研究成果の発表の場として、化学クラブ研究発表会を開催しており、今回、第28回を開催します。

参加費:無料。

申込方法:事前登録不要。当日会場にて受付。

問合せ:(社)日本化学会 企画部 美園・田中
101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5
電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318
E-mail: kanto@chemistry.or.jp

2011世界化学年記念 JSTさきがけ研究領域 合同シンポジウム 「人類の危機に挑む研究開発: 光と太陽エネルギー」

主催:科学技術振興機構(JST)・日本化学会・日本化学連合
共催(予定):日本化学工業協会・化学技術戦略推進機構
日時:3月28日(月) 10:00-20:00
会場:S3 会場 16館 セレストホール

太陽光エネルギーなど自然再生エネルギーの本格的な利用が喫緊の課題となっている。平成20～21年度発足した科学技術振興機構さきがけ研究領域「光の利用と物質材料・生命機能」「太陽光と光電変換機能」「光エネルギーと物質変換」では、光と太陽エネルギーを共通項として、人類にとって最大の危機とされる資源・エネルギー、環境問題に積極的に取り組んでいる。このうち「光エネルギーと物質変換」研究領域では、昨年3月の第90春季年会で第1回国際シンポジウム「光エネルギーと物質変換:人工光合成の未来」を開催し、日本化学会会員を中心に500名を超える参加者を集め、この問題への関心の高さが示され好評博した。そこで第2回目となる今回は、化学関連のさきがけ3研究領域合同のシンポジウムを企画した。具体的には、①2010年ノーベル化学賞受賞者による特別メッセージ、②3研究領域を含む広く若手研究者へのメッセージとしての基調講演、③「光エネルギーと物質変換」研究領域における世界最先端研究者による特別講演、④研究領域の研究総括による研究領域の紹介、⑤3研究領域研究者による研究の現状と将来展望の研究発表・討論、で構成する。これにより、さきがけ3研究領域の研究の現状と研究課題の重要性及び研究領域への参画を春季年会参加若手研究者に広く情報発信し、3研究領域を含む化学関連研究者への科学的刺激とさらなる

る研究推進に資する。

プログラム

【総合司会】(科学技術振興機構さきがけ「光エネルギーと物質変換」領域研究総括/首都大東京戦略研究セ) 井上晴夫

10:00-10:10 開会挨拶 (科学技術振興機構理事長) 北澤宏一

10:10-10:40 基調講演【座長:井上晴夫】

若手研究者に必要なセンス:光触媒研究を例として(東京理科大学長) 藤嶋 昭

10:40-11:50 JST さきがけ研究領域紹介・研究発表1「光の利用と物質材料・生命機能」

○研究領域紹介(10分)

(研究総括/奈良先端科学技術大学院物質創成科学特任教授) 増原 宏

○研究発表

①単一分子蛍光計測で探るキラリティーの本質(北大電子科学研) 深港 豪

②プラズモニック物質の波動関数の光制御とその応用(早大理工) 井村考平

③分子間相対配置の操作による光化学過程の能動的制御:人工光捕集系の構築(首都大東京院都市環境) 高木慎介

④プロトクロロフィド還元酵素を利用した新規ニトロゲナーゼ創出を目指して(名大院生命農学) 藤田祐一

13:00-13:15 特別メッセージ

「演題未定」(2010 ノーベル化学賞受賞者・米国パデュー大特別教授) 根岸英一

13:15-13:55 特別講演【座長:井上晴夫】

Conjugated Polyelectrolytes: Structure, Properties and Applications (Univ. of Florida, Prof.) Kirk S. Schanze

13:55-14:25 JST さきがけ事業紹介

(科学技術振興機構イノベーション推進本部さきがけ担当調査役) 原口亮治

14:25-14:35 新研究領域紹介

藻類・水圏微生物の機能解明と制御によるバイオエネルギー創出のための基盤技術の創出(研究総括/東京農工大理事・副学長) 松永 是

14:50-16:15 JST さきがけ研究領域紹介・研究発表2「太陽光と光電変換機能」

○研究領域紹介(10分)(研究総括/九大院生命体工学教授) 早瀬修二

○研究発表

①過渡吸収分光法による高分子太陽電池の光電変換機構の解明(京大院工) 大北英生

②PbS量子ドットの多重励起子生成評価(電通大先進理工) 沈 青

③カルコパイライト型リン化合物を用いた太陽電池一状態図と結晶成長(京大院工) 野瀬嘉太郎

④シリコン結晶の融液成長メカニズムの解明:太陽電池用シリコン多結晶インゴットの高品質化へ向けて(東北大金属材料研) 藤原航三

⑤色素増感太陽電池の高効率化研究(物質・材料研次世代太陽電池セ) 柳田真利

16:15-17:40 JST さきがけ研究領域紹介・研究発表3「光エネルギーと物質変換」

○研究領域紹介(10分)(研究総括/首都大東京戦略セ教授) 井上晴夫

○研究発表

①色素増感系光触媒を水素生成系として用いる2段階励起型可視光水分解(北大触媒化学研究セ) 阿部 竜

②光機能性巨大 π 共役系化合物の創製(京大院理) 荒谷直樹

③[Fe]-ヒドロゲナーゼの活性中心鉄錯体の生合成(マックスプランク陸生微生物学研) 嶋 誠吾

④光合成によるエネルギー変換と水の酸化機構(愛媛大無細胞生命科学工学研究セ) 杉浦美羽

⑤局在プラズモンで誘起する非線形光化学(北大院理) 坪井泰之

17:40-17:45 閉会挨拶(平成22~23年度日本化学会会長/東大名譽・電通大院情報理工教授) 岩澤康裕

18:00-20:00 ポスターセッション 於:神奈川大学横浜キャンパス体育館 上記さきがけ研究者14名のほか、3領域研究者40数名によるポスター発表。発表者のプログラムは春季年会プログラムをご覧下さい。

※簡単な飲物・軽食等を準備しミキサー風を実施予定。参加費1,000円(当日ポスター会場にてお支払い下さい。)

シンポジウム参加費・講演資料代:無料。

申込方法:URL(<http://www.chem-conv.jst.go.jp/index.html>)またはE-mailにてお申し込み下さい。E-mailで申込みの場合にはJST合同シンポジウム参加希望と明記し、①氏名・②所属・職位、

③連絡先住所(〒)・電話番号・FAX、E-mail、④ポスターセッションの参加の有無、を明記しお申し込み下さい。当日参加も可能です。なお、本シンポジウムのみ参加希望の場合には春季年会の

参加登録は不要です。

申込先:192-0397 八王子市南大沢1-1-1 首都大学東京 プロジェクト研究棟302号室 科学技術振興機構さきがけ「光エネルギーと物質変換」領域事務所 浅野正江

電話(042)653-3415 FAX(042)653-3416

E-mail: masano@chem-conv.jst.go.jp

科学技術振興機構(JST)研究者支援事業「さきがけ」説明会を13:55~14:25まで同会場にて行います。公募に関する資料をお渡しいたしますので、お問い合わせの上ご参加下さい。

日英シンポジウム2011

主催:日本化学会 将来構想委員会

共催:英国王立化学会(RSC)

日時:3月28日(月) 9:10-17:40

会場:SE会場23号館310教室

ケミカルバイオロジーの潮流には2つの大きな流れがある。1つは天然物化学や有機合成化学を主体とした生理活性に着目した流れであり、もう一方はイメージングプローブ作製による可視化解析である。これらの2つの流れは、近年のノーベル化学賞受賞対象研究に見られるように深いつながりがある。今回のシンポジウムでは、英国と日本において化学を突破口とした生物学研究を展開している若手講演者にお話しいただき、化学研究が生物学研究に与えるインパクトについて紹介する。また、本シンポジウムは日本化学会の国際交流活動の一環として英国王立化学会と共同で開催され、2010年7月にロンドンにおいて開催された共同シンポジウムに続いて開催される企画である。今回は英国から4名の招待講演者を招き、日本側の5名とともに講演を行う。

プログラム

Chair: Kazuya Kikuchi

09:10-09:20 Opening Remarks Yasuhiro Iwasawa, President, CSJ

09:20-09:30 Richard Pike, CEO, RSC

Chair: Hiroshi Murakami

09:30-10:10 Gregory L. Challis, Warwick University, "Novel Catalytic Chemistry in Bioactive Natural Product Biosynthesis"

Chair: Gregory L. Challis

10:10-10:50 Hiroshi Murakami, The University of Tokyo, "Development of Non-standard Peptide Inhibitors Using flexible *in Vitro* Translation System"

10:50-11:20 Intermission

Chair: Kazushi Kinbara

11:20-12:00 Dominic Campopiano, University of Edinburgh, "Sphingolipid Biosynthesis in Man and Microbes"

Chair: Dominic Campopiano

12:00-12:40 Kazushi Kinbara, Tohoku University, "Development of Supramolecular Tools for Regulation of Biological Events"

12:40-13:40 Lunch Time

Chair: Nicholas J Westwood

13:40-14:20 Motonari Uesugi, Kyoto University,

"Small Molecule Tools for Cell Biology and Cell Therapy"

Chair: Motonari Uesugi

14:20-15:00 Nicholas J Westwood, University of St Andrews, "Recent Advances in Chemical Genetics"

15:00-15:30 Intermission

Chair: Rebecca Goss

15:30-16:10 Masayuki Inoue, The University of Tokyo,

"Total Synthesis and Biological Evaluation of Polytheonamide B"

Chair: Masayuki Inoue

16:10-16:50 Rebecca Goss, University of East Anglia,

"Elucidating and Exploiting Biosynthesis"

Chair: Rebecca Goss

16:50-17:30 Kazuya Kikuchi, Osaka University, "Molecular Imaging Probes with Tunable Switches for *in Vivo* Applications"

17:30-17:40 Closing Remarks

参加費:無料(年会参加登録者に限る)。

申込方法:当日受付。

申込先:(社)日本化学会 企画部

101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318

E-mail: ihida@chemistry.or.jp

未来を拓く社会からのメッセージ ～男女が共に生きる取り組みとは～

主催：日本化学会男女共同参画推進委員会
日時：3月28日(月) 13:30-17:15
会場：SA会場(23号館303教室)

男女共同参画社会の実現を目指して日本化学会ではこれまでに10回のシンポジウムを開催するとともに提言を行ってきました。国際社会と比較して一層の努力が必要であるものの、日本においても男女共同参画社会実現に向けた組織と意識の変化が進んでいるのも事実です。

本年は、マリー・キュリーノーベル化学賞受賞100年記念となる年です。本シンポジウムでは、これまでの女性の社会進出を振り返りつつ、男女共同参画が進む組織の運営とその実施経験から学び、今後の展望を共有します。特に、これから社会へ飛翔する若手の人生選択においてヒントとなる知識や価値観の提供を目指します。

プログラム

13:30- 開会挨拶 日本化学会会長 岩澤康裕
13:35- 趣旨説明 シンポジウム実行委員長 宍戸 厚

【基調講演】

13:40- 「一人一人が生きる男女共同参画」
文部科学省生涯学習政策局局長 板東久美子

【依頼講演】

14:30- 「資生堂リサーチセンターにおける男女共同参画の取り組み」(株)資生堂リサーチセンター新横浜 石野章博
14:55- 「女性研究者として社会ではたらく～私のチャレンジ～」
NTT(株)物性科学基礎研究所 河西奈保子
15:20- 「生き活きと仕事、しなやかに子育て～その時々に応じて選択するワーク・ライフ・バランス」
東京ガス(株)人事部人材開発室 西村かよ子
15:45- 「人材戦略としての女性社員の活躍推進」
三井化学(株)人事部 田中千穂
16:10- 「大学の男女共同参画状況～東工大の場合/マルチタスク生活～私の場合」東京工業大学産学連携推進本部 林ゆう子
16:35- 「花王(株)におけるイコール・パートナーシップ推進活動について」花王(株)人材開発部門人材開発部 座間美都子
17:00- 閉会挨拶 男女共同参画推進委員会委員長 佐々木政子

参加費：無料。
申込方法：当日受付。
問合せ先：日本化学会 企画部 井樋田
101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5
電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318
E-mail: danjo@chemistry.or.jp
懇親会：17:15～(無料、事前申込み不要)

第2回日中若手化学者フォーラム

主催：日本化学会
共催：中国化学会
日時：3月28日(月) 9:00-17:00
会場：S4会場20号館205教室

2010年第27回中国化学会年會において開催された第1回日中若手化学者フォーラムに引き続き、第2回目のフォーラムを日本化学会第91春季年會において開催する。次世代の化学者がお互いの理解を深め個人的な関係を築き、さらに将来の日中ネットワークの基盤をつくるために、特定のテーマの下に少人数でフォーラムを行う。今回のテーマは“Chemistry for Energy Conversion and Storage”とする。

プログラム

日本講演者：池田 茂(大阪大学)
犬飼潤治(山梨大学)
駒場慎一(東京理科大学)
野瀬嘉太郎(京都大学)
原田慈久(東京大学)
山田淳夫(東京大学)
中国講演者：Lin Zhuang (Wuhan University)
Yongyao Xia (Fudan University)
Peng Wang (Changchun Institute of Applied Chemistry)
Yan Liu (Peking University)
Luhua Jiang (Dalian Institute of Chemical Physics)
Bin Ren (Xiamen University)

上記、講演者による討論を開催。

参加：聴講可能(年會参加登録者に限る)。
申込方法：当日受付。
問合せ先：(社)日本化学会 企画部 井樋田
電話(03)3292-6163 FAX(03)3292-6318
E-mail: ihida@chemistry.or.jp

第 91 春季年会プログラム [会場別]
アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)は P. 298 ~
アカデミックプログラム(AP)は 春季年会ウェブサイトにてご覧ください

S1 会場

10号館 10-41

学会賞

3月26日午前

座長 小林 昭子 (10:00~11:00)

1S1-01 学会賞受賞講演 ナノグラフェンのエッジ状態とその電子的及び磁気的機能の開拓 (東工大理工) 榎 敏明 (10:00~11:00)

座長 田中 健一郎 (11:10~12:10)

1S1-02 学会賞受賞講演 水を分解するエネルギー変換型光触媒の開発 (東大院工) 堂免一成 (11:10~12:10)

世界化学年記念シンポジウム
化学が未来をリードするには？

3月26日午後

(13:30~16:45)

詳細は別掲ページをご覧ください。

市民公開講座～科学者たちの未来への挑戦～

座長 小澤 岳昌 (13:20~14:10)

1S1-03 市民講座 宇宙での生命科学実験-過去・現在・未来- (東大院総合文化・産総研幹細胞工学研究センター) 浅島 誠 (13:20~14:10)

座長 井上 将行 (14:10~15:00)

1S1-04 市民講座 史上最大の新興スタチンはこうして生まれた (バイオファーム研究所) 遠藤 章 (14:10~15:00)

座長 狩野 直和 (15:20~16:10)

1S1-05 市民講座 顔学への招待-コンピュータで探る顔の秘密- (東大名誉/日本顔学会会長) 原島 博 (15:20~16:10)

座長 沼尾 直子 (16:10~17:00)

1S1-06 市民講座 マラリア対策用オリセットネット(蚊帳) (住友化学農業化学品研究所) 伊藤高明 (16:10~17:00)

第 28 回化学クラブ研究発表会

3月28日午前

(10:00~12:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

3月28日午後

(13:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S2 会場

10号館 10-42

学会賞

3月26日午前

座長 香月 島 (11:00~12:00)

1S2-01 学会賞受賞講演 キラル有機化合物の不斉の起源とホモキラリティーの研究 (東理大理) 碓合憲三 (11:00~12:00)

3月26日午後

座長 下村 政嗣 (13:00~14:00)

1S2-02 学会賞受賞講演 化学ツールを活用したゲノム工学の創成 (東大先端研) 小宮山 真 (13:00~14:00)

座長 鈴木 啓介 (14:10~15:10)

1S2-03 学会賞受賞講演 生体関連核酸誘導体の効率的合成法に関する研究 (東工大院生命理工) 関根光雄 (14:10~15:10)

座長 鈴木 啓介 (15:20~16:20)

1S2-04 学会賞受賞講演 ペプチドチオエステルを合成ブロックとするタンパク質合成法の開発 (阪大蛋白研) 相本三郎 (15:20~16:20)

第 28 回化学クラブ研究発表会

3月28日午前

(10:00~12:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

3月28日午後

(13:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S3 会場

16号館 201 教室

会長講演、表彰式、スプリングコンサート 2011

3月27日午後

(13:40~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

2011 世界化学年記念
JST さきがけ研究領域合同シンポジウム
「人類の危機に挑む研究開発：光と太陽エネルギー」

3月28日午前

(10:00~10:10)

3S3-01 開会挨拶 (JST) 北澤宏一 (10:00~10:10)

座長 井上 晴夫 (10:10~10:40)

3S3-02 基調講演 若手研究者に必要なセンス：光触媒研究を例として (東京理科大学学長) 藤嶋 昭 (10:10~10:40)

JST さきがけ研究領域・研究紹介
「光の利用と物質材料・生命機能」

(10:40~11:50)

3S3-03 研究領域紹介 (奈良先端大院物質創成) 増原 宏 (10:40~10:50)

3S3-04 単一分子蛍光計測で探るキラリティーの本質 (北大電子研・JST さきがけ) ○深港 豪 (10:50~11:05)

3S3-05 ブラズモニック物質の波動関数の光制御とその応用 (早大理工・JST さきがけ) ○井村考平 (11:05~11:20)

3S3-06 分子間相対配置の操作による光化学過程の能動的制御 ~人工光捕集系の構築を目指して (首都大院都市環境・JST さきがけ) ○高木慎介 (11:20~11:35)

3S3-07 プロトクロロフィリド還元酵素を利用した新規ニトロゲナーゼ創出を目指して (名大院生命農・JST さきがけ) ○藤田祐一 (11:35~11:50)

3月28日午後

座長 高橋 保 (13:00~13:10)

3S3-08 特別メッセージ (米国パデュー大学) 根岸英一 (13:00~

13:10)

座長 井上 晴夫 (13:15~13:55)

3S3-09# 特別講演 Conjugated Polyelectrolytes: Structures, Properties and Applications (米国フロリダ大) Kirk S. Schanze (13:15~13:55)

(13:55~17:45)

3S3-10 JST さきがけ/CREST 事業紹介 (JST) 原口亮治 (13:55~14:25)

新研究領域紹介

3S3-11 藻類・水圏微生物の機能解明と制御によるバイオエネルギー創出のための基盤技術の創出 (東農工大) 松永 是 (14:25~14:35)

JST さきがけ研究領域・研究紹介 「太陽光と光電変換機能」

3S3-12 研究領域紹介 (九工大 生命体工学) 早瀬修二 (14:50~15:00)

3S3-13 過渡吸収分光法による高分子太陽電池の光電変換機構の解明 (京大院工・JST さきがけ) ○大北英生 (15:00~15:15)

3S3-14 改良型過渡回折法による PbS 量子ドットの多重励起子生成評価 (電通大先進理工・JST さきがけ・中央大理工) ○沈 青・片山建二・澤田嗣郎・豊田太郎 (15:15~15:30)

3S3-15 カルコバイライト型リン化合物を用いた太陽電池-状態と結晶成長 (京大院工・JST さきがけ) ○野瀬嘉太郎・宇田哲也 (15:30~15:45)

3S3-16 シリコン結晶の融液成長メカニズムの解明-太陽電池用シリコン多結晶インゴットの高品質化へ向けて- (東北大金研・JST さきがけ) ○藤原航三 (15:45~16:00)

3S3-17 色素増感太陽電池の高効率化研究 (物材機構・JST さきがけ) ○柳田真利・韓 礼元 (16:00~16:15)

JST さきがけ研究領域・研究紹介 「光エネルギーと物質変換」

3S3-18 研究領域紹介 (首都大戦略研究セ) 井上晴夫 (16:15~16:25)

3S3-19 色素増感系光触媒を水素生成系として用いる 2 段階励起型可視光水分解 (北大・産総研) ○阿部 竜・森 有子・原 浩次郎・甲村長利・大谷文章 (16:25~16:40)

3S3-20 光機能性巨大 π 共役系化合物の創製 (京大院理・JST さきがけ) ○荒谷直樹 (16:40~16:55)

3S3-21 [Fe]-ヒドロゲナーゼの活性中心鉄錯体の生合成 (マックスプランク陸生微生物学研究所) ○嶋 盛吾 (16:55~17:10)

3S3-22 光合成によるエネルギー変換と水の酸化機構 (愛媛大無細胞センター) 杉浦美羽 (17:10~17:25)

3S3-23 局在プラズモンで誘起する非線形光化学 (北大院理・JST さきがけ) ○坪井泰之 (17:25~17:40)

3S3-24 閉会挨拶 (日本化学会会長) 岩澤康裕 (17:40~17:45)

18:00 より P 会場 (13 号館) にて、上記さきがけ研究者 14 名のほか、3 領域研究者 40 数名によるポスターセッションを予定。

S4 会場

20 号館 20-205

第 2 回日中若手化学者フォーラム

3月28日午前

(9:00~12:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

3月28日午後

(13:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S5 会場

23 号館 23-201

分子配列空間の精密制御と情報変換

3月26日午前

(9:30~9:35)

1S5-01 特別企画講演 趣旨説明 (広島大院理) 灰野岳晴 (09:30~09:35)

座長 灰野 岳晴 (9:35~10:35)

1S5-02 特別企画講演 機能因子の空間配列制御による構造・機能変換 (筑波大院数理物質) 鍋島達弥 (09:35~10:05)

1S5-03 特別企画講演 超分子相互作用を利用した発光性金属錯体微結晶の創出 (奈良先端大物質) 河合 壯 (10:05~10:35)

座長 青木 伸 (10:35~11:35)

1S5-04 特別企画講演 DNA ナノウェルへのゲスト分子の選択的取り込みと精密配列化 (東大先端研) 葛谷明記 (10:35~11:05)

1S5-05 特別企画講演 設計ペプチド・タンパク質によるアミロイド線維化の制御 (東大院生命理工) ○三原久和・高橋 剛 (11:05~11:35)

座長 鍋島 達弥 (11:35~12:35)

1S5-06 特別企画講演 可視光駆動による一方向回転分子の開発 (名大院薬) ○樋口恒彦・野々垣定紀・上田真之介・加藤信樹・梅澤直樹 (11:35~12:05)

1S5-07 特別企画講演 トポロジカル結合が作り出す空間の機能とその制御-緩やかな束縛系の役割- (東大院理工) 高田十志和 (12:05~12:35)

ナノスケール分子デバイスを切り拓く分子科学の最前線

3月26日午後

座長 木口 学 (13:30~15:00)

1S5-08 特別企画講演 趣旨説明 (阪大産研) 谷口正輝 (13:30~13:40)

1S5-09 特別企画講演 電気伝導の分子科学-実在系の分子伝導理論- (産総研ナノシステム) 中村恒夫 (13:40~14:00)

1S5-10 特別企画講演 分子電気伝導および分子・金属複合系のための第一原理量子化学に関する研究 (東大院工) 島崎智実 (14:00~14:20)

1S5-11 特別企画講演 単分子エレクトロニクス応用に向けたユニット開発 (阪大産研・JST さきがけ) 家 裕隆 (14:20~14:40)

1S5-12 特別企画講演 被覆型分子ワイヤを鍵とするビルドアップ型ナノ分子デバイス合成 (京大院工) 寺尾 潤 (14:40~15:00)

座長 谷口 正輝 (15:00~16:30)

1S5-13 特別企画講演 カーボンナノチューブ内部空間を利用した 1 次元分子ナノ構造の創製 (産総研ナノチューブ応用研セ・JST さきがけ・筑波大院数理物質) 岡崎俊也 (15:00~15:25)

1S5-14 特別企画講演 金属電極上のナノグラフェンにおける単一分子接合 (理研) 金 有洙 (15:25~15:45)

1S5-15 特別企画講演 分子ワイヤにおける電荷輸送機構 (阪大院基礎工) 山田 亮 (15:45~16:05)

1S5-16 特別企画講演 単一 π 共役分子の電子伝導 (東大院理工) 木口 学 (16:05~16:25)

1S5-17 特別企画講演 総括 (阪大産研・JST さきがけ) 家 裕隆 (16:25~16:30)

高次実在分子システムのための分子科学： 実験と理論による機能発現の分子論的理解

3月27日午後

(13:00~18:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S6 会場

23 号館 23-203

過渡的複合体を含む生命現象解明を目指した 化学的アプローチ

3月26日午前

(9:30~9:35)

1S6-01 特別企画講演 趣旨説明 (京大院工) 浜地 格 (09:30~09:35)

座長 浜地 格 (9:35~10:25)

1S6-02 特別企画講演 カリウムチャネル KcsA のゲーティング機構の構造化学的解析 (東大院薬) 嶋田一夫 (09:35~10:00)

1S6-03 特別企画講演 準安定なタンパク質複合体から構造情報を得るための戦略 (九大生医研) 神田大輔 (10:00~10:25)

座長 築地 真也 (10:25~11:40)

1S6-04 特別企画講演 タグ・小分子プローブペアを用いたタンパク質特異的ラベル化法の新展開 (九大院薬・九大稲盛フロンティア・京大院工) ○王子田彰夫・野中 洋・浜地 格 (10:25~10:50)

- 1S6-05 特別企画講演** 遺伝子の機能発現を光制御するケージド化合物の開発 (東邦大理) 古田寿昭 (10:50~11:15)
1S6-06 特別企画講演 蛍光センサーによる単一細胞内イノシトールポリリン酸代謝動態の解析 (京大エネ研) 森井 孝 (11:15~11:40)

座長 清中 茂樹 (11:40~12:30)

- 1S6-07 特別企画講演** 細胞膜上におけるトロンボポエチン受容体の一分子ダイナミクス (東大院薬・早大教育総合科学) 坂本明彦・加藤尚志○船津高志 (11:40~12:05)
1S6-08 特別企画講演 磁気共鳴による細胞計測手法の開発 (京大院工) 白川昌宏 (12:05~12:30)

有機半導体・伝導体の基礎・応用研究の最前線

3月26日午後

(13:30~13:35)

- 1S6-09 特別企画講演** 趣旨説明 (京大化研) 佐藤直樹 (13:30~13:35)

座長 佐藤 直樹 (13:35~15:00)

- 1S6-10 特別企画講演** 有機強相関電子系の構築-合成・構造的観点から- (兵庫県大院物質) 山田順一 (13:35~14:00)
1S6-11 特別企画講演 外場応答する機能性有機結晶の開拓-超伝導から歌う有機物質まで- (東大物性研) 森 初果 (14:00~14:30)
1S6-12 特別企画講演 有機分子集合体における磁性と導電性の連携 (東大院総合文化) 菅原 正 (14:30~15:00)

座長 山下 敬郎 (15:00~16:30)

- 1S6-13 特別企画講演** 高移動度有機半導体の分子設計と開発 (広島大院工) ○瀧宮和男 (15:00~15:30)
1S6-14 特別企画講演 共役系高分子の高次構造制御と薄膜トランジスタへの応用 (山形大院理工) ○時任静士・熊木大介 (15:30~16:00)
1S6-15 特別企画講演 変換型半導体とその太陽電池への応用 (三菱化学科技セ) 荒牧晋司 (16:00~16:30)

ナノ創成による次世代バイオへの展開

3月27日午前

座長 民谷 栄一 (9:30~12:10)

- 2S6-01 特別講演** はじめに-趣旨説明 (阪大院工) 民谷栄一 (09:30~09:35)
2S6-02 特別講演 核酸塩基分子の単分子識別-次々世代 DNA シーケンサーにむけて- (阪大産研) ○谷口正輝・川合知二 (09:35~10:05)
2S6-03 特別講演 オーガニックナノチューブの合成とナノバイオ応用 (産総研ナノチューブ応用研セ) 清水敏美 (10:05~10:35)
2S6-04 特別講演 医療バイオに向けたナノ磁性ビーズの高機能化 (東工大ソリューション研究機構) 半田 宏 (10:40~11:10)
2S6-05 特別講演 機能性ナノ界面ゲートバイオトランジスタによる生体分子解析 (東医歯大生材研) ○宮原裕二・松元 亮・合田達郎・前田康弘 (11:10~11:40)
2S6-06 特別講演 ナノプラズモニクスを用いたバイオ解析 (阪大院工) 吉川裕之 (11:40~12:10)

シングルセル解析による生命科学の新潮流

3月27日午後

(13:30~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

有機スピントロニクス

3月29日午前

座長 山下 正廣 (9:30~11:05)

- 4S6-01 特別企画講演** はじめに (東大物性研) 田島裕之 (09:30~09:40)
4S6-02 特別企画講演 スピン流を用いた分子におけるスピン依存伝導の研究 (阪大院基礎工・JST さきがけ) 白石誠司 (09:40~10:15)
4S6-03 特別企画講演 励起状態有機スピントロニクスとそれに関する最近の話題 (阪市大院理) 手木芳男 (10:15~10:40)
4S6-04 特別企画講演 有機太陽電池におけるスピントロニクス (新潟大院自然・JST-CREST) 生駒忠昭 (10:40~11:05)

座長 白石 誠司 (11:05~12:30)

- 4S6-05 特別企画講演** 開殻分子を利用した有機エレクトロニクス (名大物質国際セ・JST) 阿波賀邦夫 (11:05~11:25)
4S6-06 特別企画講演 有機薄膜デバイスにおける光電流磁場効果 (東大物性研) 田島裕之 (11:25~11:45)
4S6-07 特別企画講演 電子スピンをプローブとする有機トランジスタの電荷輸送 (産総研光技術) ○長谷川達生・松井弘之 (11:45~12:05)
4S6-08 特別企画講演 単分子量子磁石を用いた分子スピントロニクス

スの新展開 (東北大院理) 山下正廣 (12:05~12:30)

低炭素エネルギー創製・物質生産を支える光合成技術

3月29日午後

(13:30~13:40)

- 4S6-09 特別企画講演** 趣旨説明 (大分大工) 天尾 豊 (13:30~13:40)

座長 南後 守 (13:40~15:00)

- 4S6-10 特別企画講演** 人工分子で光合成を組み立てる:キノンプールの光化学 (分子研) 永田 央 (13:40~14:20)
4S6-11 特別企画講演 酸素発生光化学系 II 複合体の 1.9 Å 分解能における結晶構造解析 (阪市大複合先端研・阪大蛋白研・岡山大院自然) ○神谷信夫・梅名雅史・川上恵典・沈 建仁 (14:20~15:00)

座長 天尾 豊 (15:10~16:30)

- 4S6-12 特別企画講演** 光合成機能に学ぶ有機系太陽電池開発 (東大先端研) 瀬川浩司 (15:10~15:50)
4S6-13 特別企画講演 人工光合成系による二酸化炭素の光還元 (東工大大院理工) 石谷 治 (15:50~16:30)

S7 会場

23号館 23-205

マイクロ波化学プロセスの基礎と応用展開

3月26日午前

(9:30~9:35)

- 1S7-01 特別企画講演** 趣旨説明 (産総研環境管理技術) 竹内和彦 (09:30~09:35)

第1部 マイクロ波加熱原理の解明および新しいマイクロ波効果

座長 竹内 和彦 (9:35~11:15)

- 1S7-02 特別企画講演** マイクロ波による物質非平衡局所加熱の直接的解明と非熱効果 (東工大大院理工) 和田雄二 (09:35~09:55)
1S7-03 特別企画講演 マイクロ波による物質加熱と変性機構の理論・分子動力学法による解明 (中部大) ○田中基彦・河野裕彦・丸山耕司・M. Ignatenko・善甫康成 (09:55~10:15)
1S7-04 特別企画講演 非平衡反応場を利用したメソスコピック組織形成と材料創製 (東北大院工) 滝澤博胤 (10:15~10:35)
1S7-05 特別企画講演 マイクロ波照射下の結晶成長とナノ粒子合成 (九大先導研) 辻 正治 (10:35~10:55)
1S7-06 特別企画講演 マイクロ波効果をケミカルバイオロジーへ (九工大院情報工) 大内将吉 (10:55~11:15)

第2部 実用化近いマイクロ波応用技術

座長 和田 雄二 (11:25~12:30)

- 1S7-07 特別企画講演** 化学会社における実用化と開発の状況 (新日鐵化学) 河野 巧 (11:25~11:40)
1S7-08 特別企画講演 マイクロ波による高効率ポリエステル合成 (産総研環境化学技術) ○中村考志・長畑律子・竹内和彦 (11:40~11:55)
1S7-09 特別企画講演 マイクロ波バイオマス糖化技術 (豊田中研) 福島英沖 (11:55~12:10)
1S7-10 特別企画講演 バイオディーゼル燃料の高効率製造 (マイクロ波環境化学) 吉野 巖 (12:10~12:25)
1S7-11 特別企画講演 まとめと展望 (豊田中研) 福島英沖 (12:25~12:30)

機能物質創製を目指す化学空間の設計と制御

3月26日午後

座長 横澤 勉 (13:30~14:15)

- 1S7-12 特別企画講演** 自己組織化による化学空間の創出 (東大院工) 藤田 誠 (13:30~14:15)

座長 引地 史郎 (14:15~15:00)

- 1S7-13 特別企画講演** タンパク質の分子改変を基盤とする新しい生体触媒の創製 (阪大院工) 林 高史 (14:15~15:00)

座長 工藤 宏人 (15:00~15:45)

- 1S7-14 特別企画講演** 可視化透過チャンネルを有する自立型ブロックポリマー分離膜 (東工大資源研) ○彌田智一・山本崇史・木村太郎・小村元憲・波多野慎悟 (15:00~15:45)

- 座長 亀山 敦 (15:45~16:30)
- 1S7-15 特別企画講演** ラダー型環状オリゴマーを基盤とした微細加工用レジスト開発 (JSR) 丸山 研 (15:45~16:00)
- 1S7-16 特別企画講演** 配座制御を基とする折り畳みπスタッキング高分子の設計と合成 (神奈川大工) 岡本専太郎 (16:00~16:15)
- 1S7-17 特別企画講演** 金属内包酸化ナノ構造体の合成と触媒作用 (神奈川大工) 内藤周次 (16:15~16:30)

S8 会場

23号館 23-206

ソフト界面による材料化学の新潮流

3月26日午前

(9:30~9:35)

- 1S8-01 特別企画講演** 趣旨説明 (九大院工) 三浦佳子 (09:30~09:35)
- 座長 佐藤 縁 (9:35~10:50)
- 1S8-02 特別企画講演** ソフト界面制御によるポリイオンコンプレックスナノ・マイクロ粒子の構造制御とその機能 (東大院工) 岸村顕広 (09:35~10:00)
- 1S8-03 特別企画講演** センサー表面における界面設計およびその分析法 (日産化学工業・小山高専・東大院総合文化) ○古性 均・飯島道弘・佐藤里希・吉本敬太郎 (10:00~10:25)
- 1S8-04 特別企画講演** トポロジー変化が駆動するインターロック架橋法の開発 (東工大院理工) 小山靖人 (10:25~10:50)

- 座長 吉本 敬太郎 (10:50~11:40)
- 1S8-05 特別企画講演** 超解像光学による界面/薄膜における単一高分子鎖の構造評価 (京大先端医工) 青木裕之 (10:50~11:15)
- 1S8-06 特別企画講演** 超臨界 NMR 法による Water-in-CO₂ エマルジョンのダイナミクス解析 (東工大原子炉研) 塚原剛彦 (11:15~11:40)

- 座長 高井 まどか (11:40~12:35)
- 1S8-07 特別企画講演** 細胞磁気ラベリングに向けたバイオナノ磁性粒子界面の分子設計 (東農工大院工) ○吉野知子・松永 是 (11:40~12:05)
- 1S8-08 特別企画講演** 細胞界面のナノ接着制御による機能性ハイブリッド組織の創製 (阪大院工・JST さきがけ) ○松崎典弥・門脇功治・明石 満 (12:05~12:35)

エキゾチック自己組織化材料： 特異な形態および機能解析

3月26日午後

(13:30~13:35)

- 1S8-09 特別企画講演** 趣旨説明 (九大院工) 松浦和則 (13:30~13:35)
- 座長 松浦 和則 (13:35~14:15)
- 1S8-10 特別企画講演** 巧みに構造制御されたエキゾチック多形体の機能創発 (物材機構ナノ有機セ・JST さきがけ) 中西尚志 (13:35~13:55)
- 1S8-11 特別企画講演** 企業から見たエキゾチック自己組織化材料への期待 (富士フイルム 先端コア技術研究所) 西見大成 (13:55~14:15)

- 座長 中西 尚志 (14:15~15:15)
- 1S8-12 特別企画講演** 生体分子モーターの動的自己組織が生むエキゾチック機能 (北大院先端生命・JST さきがけ) ○角五 彰・龔 劍萍 (14:15~14:35)
- 1S8-13 特別企画講演** マイクロ波法による自己組織化材料中の局所的電荷輸送特性 (阪大院工・JST さきがけ) 佐伯昭紀 (14:35~14:55)
- 1S8-14 特別企画講演** 円偏光発光性キラル超分子の創成と機能創発 (奈良先端大物質・JST さきがけ・JST 先端計測) ○内藤昌信・芝口廣司・瀧山幸次郎・妻鳥紘之・河合 壯・岩堀健治・山下一郎 (14:55~15:15)

- 座長 矢貝 史樹 (15:15~16:35)
- 1S8-15 特別企画講演** ヘムタンパク質自己組織化集合体の構築 (阪大院工) 林 高史 (15:15~15:45)
- 1S8-16 特別企画講演** ソフトマターのためのナノ触診技術 (東北大 WPI-AIMR) 中嶋 健 (15:45~16:05)
- 1S8-17 特別企画講演** 液晶の超分子化・機能化における最前線 (東大院工) 加藤隆史 (16:05~16:35)

S9 会場

23号館 23-301

化合物ライブラリーの意義と活用： 化合物を介したアカデミアの化学系研究者と 生物系研究者の連携による創薬研究

3月26日午前

オーバービュー

- 座長 奥山 彬 (9:30~9:50)
- 1S9-01 特別企画講演** 有機合成化学者としての社会貢献 (アカデミア化合物を活用した新薬開発研究) (星薬大) 井原正隆 (09:30~09:50)

1.アカデミア化合物ライブラリー

- 座長 坂本 尚夫 (9:50~10:40)
- 1S9-02 特別企画講演** 天然物ライブラリーの活用と次世代化 (産総研) 夏目 徹 (09:50~10:05)
- 1S9-03 特別企画講演** 標的指向型ライブラリー構築と生命科学への貢献 (阪大院理) 深瀬浩一 (10:05~10:20)
- 1S9-04 特別企画講演** 大学における合成化合物の保管・管理 (九大名誉) 森 章 (10:20~10:30)
- 1S9-05 特別企画講演** 成果有体物の知的財産権 (名古屋産業科学研究所 中部 TLO) 大森茂嘉 (10:30~10:40)

2.化合物ライブラリーの活用

- 座長 岩淵 好治 (10:40~11:25)
- 1S9-06 特別企画講演** 生物機能制御化合物ライブラリー機構 (東大化合物ライブラリー機構) 岡部隆義 (10:40~10:55)
- 1S9-07 特別企画講演** アカデミアにおける化合物ライブラリー (京大 iCeMS) 上杉志成 (10:55~11:10)
- 1S9-08 特別企画講演** アカデミア化合物の抗がん評価 (癌研化療セ) 矢守隆夫 (11:10~11:25)

3.合成研究者と生物系研究者およびITとの連携(産学連携)

- 座長 上西 潤一 (11:25~12:05)
- 1S9-09 特別企画講演** パーチャルスクリーニングによるパーキンソン病治療薬の開発 (北大院薬) 有賀寛芳 (11:25~11:40)
- 1S9-10 特別企画講演** 創薬における合成化学の意義を探る (星薬大薬) 本多利雄 (11:40~11:55)
- 1S9-11 特別企画講演** IT 創薬を活用したパーキンソン病治療薬開発 (富士通) 紙谷 希 (11:55~12:05)

4.アカデミア化合物データベースの構築・活用

- 座長 廣田 耕作 (12:05~12:30)
- 1S9-12 特別企画講演** アカデミア化合物データベースの構築・活用 (NPO 化合物活用セ) 奥山 彬 (12:05~12:20)
- 1S9-13 特別企画講演** アカデミア化合物データベースの構築・活用 (補足) (NPO 化合物活用セ) 鈴木國夫 (12:20~12:30)

バイオ医薬時代の低分子創薬：生命化学の新たな挑戦

3月26日午後

(13:30~13:35)

- 1S9-14 特別企画講演** 趣旨説明 (東大医科研) 津本浩平 (13:30~13:35)

- 座長 辻 尚志 (13:35~14:15)
- 1S9-15 特別企画講演** 低分子化合物の標的タンパク質の同定 (産総研) 夏目 徹 (13:35~14:15)

- 座長 藤井 郁雄 (14:15~14:55)
- 1S9-16 特別企画講演** 抗体機能と低分子 (化血研) 中島敏博 (14:15~14:55)

- 座長 三原 久和 (15:05~15:45)
- 1S9-17 特別企画講演** タンパク質-タンパク質相互作用を低分子で制御する (分子設計アドバイザー・インタープロテイン) ○松崎尹雄・森島 甫・肥塚靖彦・高島 徹・伊藤 学・小松弘嗣・細田雅人 (15:05~15:45)

- 座長 深瀬 浩一 (15:45~16:30)
- 1S9-18 特別企画講演** フラグメントベースド・ドラッグデザインによるリード化合物創生 (アステラス製薬) 新美達也 (15:45~16:25)

1S9-19 特別企画講演 総括(味の素製薬)辻 尚志(16:25~16:30)

ケミカルバイオロジーの分子基盤

3月27日午前

(9:00~9:10)

2S9-01 特別講演 挨拶(阪大院理)大船泰史(09:00~09:10)

座長 有本 博一(9:10~9:40)

2S9-02 特別講演 半田ビーズによるサリドマイド催奇性の原因因子の発見(東工大ソリューション研究機構)半田 宏(09:10~09:40)

座長 深瀬 浩一(9:40~10:10)

2S9-03 特別講演 ムギネ酸類の実践的合成を基盤としたオオムギの鉄取り込み機構に関する研究(北大院理)難波康祐(09:40~10:10)

座長 江口 正(10:10~10:40)

2S9-04 特別講演 ケミカルバイオロジー分子基盤としての脂質二重膜(阪大院理)○松森信明・村田道雄(10:10~10:40)

座長 只野 金一(10:50~11:20)

2S9-05 特別講演 フシコッカンジテルペノイドをリードとした新規抗がん剤の開発(阪大産研)加藤修雄(10:50~11:20)

座長 谷野 圭持(11:20~11:50)

2S9-06 特別講演 植物の生物現象と天然物ケミカルバイオロジー(東北大院理)上田 実(11:20~11:50)

座長 村田 道雄(11:50~12:20)

2S9-07 特別講演 日本のケミカルバイオロジー(慶大理工)上村大輔(11:50~12:20)

生物無機化学の最前線 -生体関連化学の新たな挑戦に向けて-

3月27日午後

座長 伊東 忍(13:30~14:50)

2S9-08 特別講演 人工光合成のシステム開発(阪大院工)福住俊一(13:30~14:10)

2S9-09 特別講演 生体系に学ぶ酵素活性化二核金属酵素モデルの分子設計(金沢大理工学域)鈴木正樹(14:10~14:50)

座長 石森 浩一郎(14:50~16:20)

2S9-10# 特別講演 金属酵素機能創成:三つのアプローチ(名大院理)渡辺芳人(14:50~15:30)

2S9-11 特別講演 光機能性プローブ開発による先進医療開発(東大院医)浦野泰照(15:40~16:20)

座長 城 宜嗣(16:20~17:40)

2S9-12 特別講演 細胞中の遺伝子制御化学(甲南大FIBER・甲南大FIRST)杉本直己(16:20~17:00)

2S9-13 特別講演 生物無機化学から更なる境界領域へ:錯体化学を活用したChemical Biology(京大院工・CREST/JST)浜地 格(17:00~17:40)

SA 会場

23号館 23-303

企業で活躍する博士たち

3月27日午後

(13:00~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

材料化学構築学に基づく新機能の創出

3月28日午前

座長 田中 勝久(9:00~9:35)

3SA-01 特別講演 趣旨説明(京大院工)田中勝久(09:00~09:05)

3SA-02 特別講演 分極バイオエレクトレットの創製とその表面電場空間内での生体反応制御(東医歯大生材研)山下仁夫(09:05~09:35)

座長 永井 亜希子(9:35~10:35)

3SA-03 特別講演 構造制御されたハイブリッド材料の光機能創出(豊橋技科大)松田厚範(09:35~10:05)

3SA-04 特別講演 自己組織化によるナノ構造の構築と電磁気・エネルギー機能(九大院総理工)大瀧倫卓(10:05~10:35)

座長 田中 優実(10:35~11:35)

3SA-05 特別講演 レーザー励起プラズマCVDプロセスによるセラミックス膜の創製(東北大金研)後藤 孝(10:35~11:05)

3SA-06 特別講演 極小固体の連続接合による幾何学パターン造形と特異機能の発現(阪大接合研)○桐原聡秀・太田憲利・瀧波洋平・前田智秋・田崎智子(11:05~11:35)

座長 大槻 主税(11:35~12:35)

3SA-07 特別講演 組織制御による新規多孔体の構造制御と機能付与(阪府大院工)中平 敦(11:35~12:05)

3SA-08 特別講演 メゾ/マクロ融合機能材料の創出と応用開拓(阪府大院工)高橋雅英(12:05~12:35)

第11回男女共同参画シンポジウム 未来を拓く社会からのメッセージ ~男女が共に生きる取り組みとは~

3月28日午後

(13:30~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

持続可能な社会を支える化学、 化学技術および化学教育

3月29日午前

座長 奥田 潤(9:30~11:00)

4SA-01 特別企画講演 GSCの最新動向(産総研)島田広道(09:30~09:45)

第10回GSC賞受賞者講演

4SA-02 特別企画講演 亜臨界水を応用した低環境負荷な界面活性剤合成プロセスの実用化(花王)宇野 満(09:45~10:10)

4SA-03 特別企画講演 多核金属クラスター触媒による環境調和型直接変換反応の開発(阪大院基礎工)真島和志(10:10~10:35)

4SA-04 特別企画講演 マイクロリアクターの特性を生かした環境調和型精密有機合成(京大工)吉田潤一(10:35~11:00)

第6回GSCポスター賞受賞学生講演

座長 佐藤 一彦(11:10~11:55)

4SA-05 特別企画講演 有機ケイ素色素による色素増感太陽電池の高耐久・高効率化(群馬大院工)○椋上健二・花屋 実(11:10~11:25)

4SA-06 特別企画講演 多孔質カーボン固体酸の合成と酸触媒特性(東工大応セラ研・産総研・神奈川科学技術アカデミー)○菅沼学史・中島清隆・北野政明・林 繁信・原 亨和(11:25~11:40)

4SA-07 特別企画講演 環境調和型プロセスを用いたポリフルオレン誘導体の電解還元反応(東大院総理工)○小関良弥・林 正太郎・稲木信介・淵上寿雄(11:40~11:55)

SB 会場

23号館 23-304

第18回化学教育フォーラム 実験を主体とした普及交流活動 ~様々な立場からの提案~

3月27日午後

(13:00~16:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

SC 会場

23号館 23-307

不活性結合の活性化:直截的分子変換を目指して

3月27日午後

2SC-01 特別講演 趣旨説明(阪大院工)茶谷直人(14:00~14:10)

座長 岩澤 伸治(14:10~15:10)

2SC-02 特別講演 芳香族炭素-酸素結合の活性化を経る触媒的変換反応(阪大院工)齋巢 守(14:10~14:40)

2SC-03 特別講演 炭素-水素あるいは炭素-炭素結合切断を経るカルボ

ン酸類の触媒的カップリング反応 (阪大院工) 佐藤哲也 (14:40~15:10)

座長 村上 正浩 (15:10~16:10)

- 2SC-04 特別講演** 直裁的多置換複素環合成を志向した複素環化合物のC-H結合直接アリアル化反応 (岐阜大工) 芝原文利 (15:10~15:40)
- 2SC-05 特別講演** 炭素-フッ素結合活性化を利用する分子骨格構築反応 (筑波大院数理工) 瀧辺耕平 (15:40~16:10)

座長 真島 和志 (16:10~17:10)

- 2SC-06 特別講演** 7族遷移金属触媒による炭素-水素および炭素-炭素結合変換反応の開発 (岡山大院自然) ○國信洋一郎・高井和彦 (16:10~16:40)
- 2SC-07 特別講演** 協働金属触媒による不活性結合の変換反応の開発 (京大院工) 中尾佳亮 (16:40~17:10)

SD 会場

23号館 23-309

プラズモン増強光化学反応 -光と物質の新しい相互作用と その光化学反応への展開-

3月27日午後

座長 村越 敬 (13:30~15:35)

- 2SD-01 特別講演** 趣旨説明 (北大電子研) 三澤弘明 (13:30~13:35)
- 2SD-02 特別講演** 光ナノアンテナを用いた広波長帯域太陽光エネルギー変換システムの構築 (北大電子研) 三澤弘明 (13:35~14:05)
- 2SD-03 特別講演** 無機ナノ粒子の構造制御による表面プラズモン共鳴波長制御 (筑波大院数理工) 寺西利治 (14:05~14:35)
- 2SD-04 特別講演** 光-分子結合制御による微視的エネルギーマニピュレーション (阪大院工) 石原 一 (14:35~15:05)
- 2SD-05 特別講演** 金属ナノ構造における光子場の可視化 (分子研) 岡本裕巳 (15:05~15:35)

座長 寺西 利治 (15:35~17:40)

- 2SD-06 特別講演** 規則ポーラス構造によるナノ・マイクロ空間の形成と光電場制御 (首都大院都市環境) 益田秀樹 (15:35~16:05)
- 2SD-07 特別講演** プラズモン共鳴による電荷分離とナノ粒子の構造制御 (東大生研) ○立間 徹・坂井伸行・高橋幸奈・松原一喜・数間恵弥子・田邊一郎 (16:05~16:35)
- 2SD-08 特別講演** 電場増強ナノ構造を用いる光電変換 (九大院工) 山田 淳 (16:35~17:05)
- 2SD-09 特別講演** 局所光電場による単分子の異方電場分極・光励起 (北大院理) 高瀬 舞・奈良正伸・保田 諭・並河英紀○村越 敬 (17:05~17:35)
- 2SD-10 特別講演** 総括 (首都大院都市環境) 益田秀樹 (17:35~17:40)

SE 会場

23号館 23-310

日英シンポジウム 2011:ケミカルバイオロジー

3月28日午前

(9:10~12:40)

詳細は別掲ページをご覧ください。

3月28日午後

(13:40~17:40)

詳細は別掲ページをご覧ください。

低次元無機-有機複合系の光化学 —低次元無機化合物が創る空間を用いた機能創製研究

3月29日午前

座長 高木 慎介 (9:30~10:45)

- 4SE-01 特別企画講演** 趣旨説明 (山口大院医) 川俣 純 (09:30~09:35)
- 4SE-02 特別企画講演** キラルな一次元 Si-O ベースポリマーの創製と光機能性分子へのキラリティー誘起 (鹿児島大院理工) 金子芳郎 (09:35~09:55)
- 4SE-03 特別企画講演** 分子集合におけるキラリティーの役割—振動円二色性スペクトル法の応用— (東邦大理) 山岸皓彦 (09:55~10:25)
- 4SE-04 特別企画講演** ナノ空間の配向制御と異方的物性の発現 (キヤノン) 宮田浩克 (10:25~10:45)

座長 笹井 亮 (10:55~12:15)

- 4SE-05 特別企画講演** 可視光を用いたチタニアナノシート層間での長寿命電荷分離 (神奈川科学技術アカデミー・名大院工・東大院理工) ○高木克彦・岡崎健一・鳥本 司・由井樹人 (10:55~11:25)
- 4SE-06 特別企画講演** 無機ナノシートによる光機能性スマートコロイド (東農大院 BASE) 中戸晃之 (11:25~11:45)
- 4SE-07 特別企画講演** ナノ層状環境における分子変化が誘起する可逆的巨視的変化 (首都大戦略研究センター) 井上晴夫 (11:45~12:15)

複合系光機能物質の革新と展開

3月29日午後

座長 石谷 治 (13:30~14:35)

- 4SE-08 特別企画講演** 趣旨説明 (富山大院理工) 野崎浩一 (13:30~13:35)
- 4SE-09 特別企画講演** ペプチド折り紙で作る光機能性人工タンパク質 (北里大院理・JST さきがけ) 石田 斉 (13:35~14:05)
- 4SE-10 特別企画講演** 応力発光材料とその応用 (産総研) 徐 超男 (14:05~14:35)

座長 速水 真也 (14:35~15:35)

- 4SE-11 特別企画講演** ペイボクロミズムの原理と応用 (北大院理) 加藤昌子 (14:35~15:05)
- 4SE-12 特別企画講演** 光磁性材料の開発 (九大先導研) 佐藤 治 (15:05~15:35)

座長 坪村 太郎 (15:35~16:35)

- 4SE-13 特別企画講演** キラル配位子を有する非対称型希土類錯体の円偏光発光 (北大院工・奈良先端大物質) ○長谷川靖哉・原田 聖・河合 壯 (15:35~16:05)
- 4SE-14 特別企画講演** 銅(I)配位高分子の発光色自在制御 (富山大院理工) 柘植清志 (16:05~16:35)

SF 会場

23号館 23-311

2011 世界化学年記念 第5回化学遺産市民公開講座

3月26日午前

(10:30~12:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

3月26日午後

(13:05~16:45)

詳細は別掲ページをご覧ください。

自己組織化超分子を基盤とする高次機能触媒の最前線

3月29日午後

(13:30~13:40)

- 4SF-01 特別企画講演** 趣旨説明 (京大化研) 高谷 光 (13:30~13:40)

座長 高谷 光 (13:40~15:00)

- 4SF-02 特別企画講演** 多環芳香族分子を活用した超分子空間の構築と機能 (東工大資源研) 吉沢道人 (13:40~14:00)
- 4SF-03 特別企画講演** 修飾シクロデキストリンを用いた超分子重合触媒の開発 (阪大院理) ○高島義徳・山口浩靖・原田 明 (14:00~14:20)
- 4SF-04 特別企画講演** 無機-有機ユニットの階層的配列制御による機能性空間の創製 (東大院総合文化) 内田さやか (14:20~14:40)
- 4SF-05 特別企画講演** キラル液晶反応場を用いる光反応の制御 (理研・JST さきがけ) 石田康博 (14:40~15:00)

座長 原 賢二 (15:00~16:20)

- 4SF-06 特別企画講演** 自己組織化パラジウムナノ触媒を用いる有機合成 (理研) 山田陽一 (15:00~15:20)
- 4SF-07 特別企画講演** シリカアルミナ固定化有機アミンの酸・塩基両機能触媒作用 (東大院総理工) 本倉 健 (15:20~15:40)
- 4SF-08 特別企画講演** ゼオライトに担持した原子状パラジウム触媒 (鳥取大院工) 奥村 和 (15:40~16:00)
- 4SF-09 特別企画講演** 合金ナノ粒子の水素吸蔵特性の解明と触媒材料への展開 (北大触セ・京大院理・JST PRESTO) ○山内美徳・北川宏・佃 達哉 (16:00~16:20)

(16:20~16:30)

- 4SF-10 特別企画講演** 総評 (北大触セ) 原 賢二 (16:20~16:30)

G1 会場
23号館 23-201

ディスプレイ材料の開発最前線

3月28日午前

OLED

(9:00~9:10)

3G1-01 オーガナイザー挨拶 (名大院工) 森 竜雄 (09:00~09:10)

座長 森 竜雄 (9:10~11:40)

3G1-02 基調講演 新奇な有機半導体材料を用いた有機発光デバイスへの挑戦 (九大最先端有機光エレクトロニクス研究センター) 安達千波矢 (09:10~10:00)

3G1-07 インキュベーションタイム (10:00~10:10)

OLEDディスプレイ

3G1-08 招待講演 有機EL方式スクーラブルディスプレイの開発 (三菱電機) ○原 善一郎・寺崎信夫 (10:10~10:50)

3G1-12 インキュベーションタイム (10:50~11:00)

3G1-13 依頼講演 透明有機ELとその関連技術 (東京工芸大工) 内田孝幸 (11:00~11:30)

3G1-16 インキュベーションタイム (11:30~11:40)

3月28日午後

座長 安達 千波矢 (13:00~14:20)

3G1-25 依頼講演 トップエミッション有機ELデバイスにおける半透明陰極の検討 (シャープ 先端材料エネ研) ○藤田悦昌・岡本 健・向殿充浩・近藤克己 (13:00~13:30)

3G1-28 インキュベーションタイム (13:30~13:40)

3G1-29 依頼講演 有機ELディスプレイ付スイッチの開発及び市場動向について (日本開閉器工業) 大貫一光 (13:40~14:10)

3G1-32 インキュベーションタイム (14:10~14:20)

OLED照明

座長 内田 孝幸 (14:20~16:30)

3G1-33 招待講演 有機EL照明の開発動向と将来展望 (パナソニック 電工 先行技術開発研究所) ○菟田卓哉・井出伸弘・辻 博也 (14:20~15:00)

3G1-37 インキュベーションタイム (15:00~15:10)

3G1-38 依頼講演 塗布型りん光材料を用いた有機EL照明 (昭和電工 研究開発センター) 近藤邦夫 (15:10~15:40)

3G1-41 インキュベーションタイム (15:40~15:50)

3G1-42 依頼講演 商品化迫る有機EL照明 (NEC ライティング) 東口 達 (15:50~16:20)

3G1-45 インキュベーションタイム (16:20~16:30)

3月29日午前

OLED材料及び関連部材

座長 梶 弘典 (9:00~10:30)

4G1-01 招待講演 ポリマーブレンド型高分子EL素子:高効率かつ長寿命な高分子EL素子の実現 (北陸先端大マテリアルサイエンス) ○村田英幸・阿部淳一 (09:00~09:40)

4G1-05 インキュベーションタイム (09:40~09:50)

4G1-06 依頼講演 高分子OLED材料の最新開発状況 (住友化学) 山田 武 (09:50~10:20)

4G1-09 インキュベーションタイム (10:20~10:30)

座長 高田 徳幸 (10:30~11:50)

4G1-10 依頼講演 有機EL用高速電子輸送材料の開発 (信州大繊維・JST さきがけ) 市川 結 (10:30~11:00)

4G1-13 インキュベーションタイム (11:00~11:10)

4G1-14 依頼講演 プラスチック基材への高品質ITO薄膜の作成 (三容真空工業) 小川倉一 (11:10~11:40)

4G1-17 インキュベーションタイム (11:40~11:50)

3月29日午後

OLED解析技術

座長 村田 英幸 (13:00~14:30)

4G1-25 招待講演 NMRによる有機EL分子の配向および劣化解析 (京大化研・九大 OPERA・日産化学工業) ○梶 弘典・福島達也・福地将志・山本順一・藤村 昂・八尋正幸・平田修造・ホ ヒョジョン・平田 修・柴野佑紀・安達千波矢 (13:00~13:40)

4G1-29 インキュベーションタイム (13:40~13:50)

4G1-30 依頼講演 有機膜へのスパッタダメージの可視化法 (産総研 光技術) ○高田徳幸・末森浩司・星野 聰・鎌田俊英・茨木伸樹 (13:50~14:20)

4G1-33 インキュベーションタイム (14:20~14:30)

座長 市川 結 (14:30~15:10)

4G1-34 依頼講演 時間分解光導波路分光法による青燐光材料の逆エネルギー移動の直接観測 (富士フイルム 解析技術センター・東北大多元研) ○平山平二郎・菅原美博・藤村秀俊・宮下陽介・三ツ石方也・宮下徳治 (14:30~15:00)

4G1-37 インキュベーションタイム (15:00~15:10)



科学技術系グラフ作成・データ分析ソフト

ORIGIN® 8.5
Data Analysis and Graphing Software

実験データの分析、論文等のグラフ作成にはOriginが最適!

基本的な折れ線・散布図から、極座標グラフ、スミスチャート、3D曲面図、等高線図などの特殊・複雑なグラフまで、約100種類のグラフタイプがサポートされています。また、グラフテンプレートを利用することにより、グラフのスタイルをそろえることも簡単。Originのグラフは非常に美しく、高品質・高解像度で出力できるため、学術論文や専門書などでも広く利用されています。

正規販売元

株式会社ライトストーン

〒130-0026 東京都墨田区両国4-30-8 両国YAビル 6F
TEL 03-5600-7201 FAX 03-5600-6671
e-Mail sales@lightstone.co.jp (営業部)

新バージョン登場!

3Dグラフが大幅に強化
Windows 7に対応

Originの最新情報はWebで!

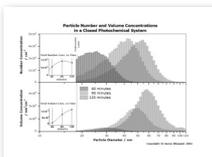
<http://origin.lightstone.co.jp/>

Origin 8.5のグラフの新機能

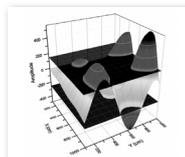
グラフの透過表現

3Dグラフの強化

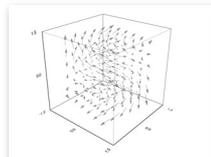
新しいグラフタイプ



シンボル、面、棒などに透過設定!



3D曲面の交差を表現可能。



3Dベクトル図、株価チャートが追加。

G2 会場

23号館 23-203

ディスプレイ材料の開発最前線

3月28日午前

電子ペーパー

(9:00~9:10)

3G2-01 オーガナイザー挨拶 (東海大工) 前田秀一 (09:00~09:10)

紙と電子ペーパー

座長 小澤 伸二 (9:10~10:50)

3G2-02 招待講演 身体感覚と認知特性から見た紙メディアのポテンシャル (東大名誉/前日本印刷学会会長) 尾鍋史彦 (09:10~09:50)

3G2-06 インキュベーションタイム (09:50~10:00)

3G2-07 招待講演 電子ペーパーの動向 (東海大工) 面谷 信 (10:00~10:40)

3G2-11 インキュベーションタイム (10:40~10:50)

電子ペーパーと表示材料(1)

座長 小林 範久 (10:50~12:10)

3G2-12 依頼講演 ロイコ染料を用いたパッシブマトリックス電子ペーパー (船井電機) ○鈴木雅雄・樋口徹也・翁 武・下村 威・福岡敏美・小野雅敏・面谷 信 (10:50~11:20)

3G2-15 インキュベーションタイム (11:20~11:30)

3G2-16 依頼講演 有機/金属ハイブリッドポリマーを用いた表示デバイスの開発 (物材機構・JST-CREST) 樋口昌芳 (11:30~12:00)

3G2-19 インキュベーションタイム (12:00~12:10)

3月28日午後

電子ペーパーと表示材料(2)

座長 前田 秀一 (13:30~15:20)

3G2-28 依頼講演 発光・発色デュアルモードを有する電子ペーパー技術 (千葉大院融合) 小林範久 (13:30~14:00)

3G2-31 インキュベーションタイム (14:00~14:10)

3G2-32 依頼講演 ツイストボール型電子ペーパー (綜研化学) 滝沢容一 (14:10~14:40)

3G2-35 インキュベーションタイム (14:40~14:50)

3G2-36 口頭C講演 陽極酸化法によって製作されたアルミナ薄膜上への亜鉛薄膜の電析を利用したカラー電子ペーパー (九大最先端有機光エレクトロニクス研究センター) ○辻 敏郎・平田修造・安達千波矢 (14:50~15:10)

3G2-38 インキュベーションタイム (15:10~15:20)

電子ペーパーの用途展開

座長 面谷 信 (15:20~17:20)

3G2-39* 依頼講演 安全監視, 防災, 減災のための新しい概念 "On Site Visualization" について (神戸大院工) 芥川真一 (15:20~15:50)

3G2-42 インキュベーションタイム (15:50~16:00)

3G2-43 依頼講演 防災・災害時の電子ペーパーの利用 (建設技術研究所・神戸大院工) ○野村 貢・芥川真一 (16:00~16:30)

3G2-46 インキュベーションタイム (16:30~16:40)

3G2-47 依頼講演 電気泳動方式電子ペーパーサイネージ (凸版印刷) 檀上英利 (16:40~17:10)

3G2-50 インキュベーションタイム (17:10~17:20)

G3 会場

23号館 23-205

未来を創る環境・資源テクノロジー

3月27日午前

革新的省エネ・省資源プロセス

(9:30~9:40)

2G3-04 オーガナイザー挨拶 (東工大資源研) 辰巳 敬 (09:30~09:40)

座長 辰巳 敬 (9:40~10:20)

2G3-05 招待講演 自動車タイヤにおけるエネルギー・環境対策 -シランカップリング剤の新製造法- (東工大院理工) 高田十志和 (09:40~10:20)

座長 高田 十志和 (10:20~11:00)

2G3-09 招待講演 炭素繊維複合材料の現状と今後の展望 (東レ複合材料研究所) 北野彰彦 (10:20~11:00)

座長 北野 彰彦 (11:00~11:40)

2G3-13 招待講演 多層膜干渉を利用した高透明高遮熱フィルム (住友スリーエム) 五十嵐麻ヤ (11:00~11:40)

座長 世古 信三 (11:40~12:10)

2G3-17 インキュベーションタイム (11:40~12:10)

3月27日午後

座長 佐藤 一彦 (13:10~14:00)

2G3-26 基調講演 新触媒の開発 -資源・エネルギー・環境分野での貢献を目指して- (三井化学) 藤田照典 (13:10~14:00)

座長 藤田 照典 (14:00~14:40)

2G3-31 招待講演 クリーン酸化技術による超長寿命絶縁材料の開発 -触媒の発見から産学官連携による製品化までの道のり- (産総研環境化学技術) 佐藤一彦 (14:00~14:40)

座長 増田 隆夫 (14:40~15:10)

2G3-35 依頼講演 ミクロ多孔体薄膜を用いた分離技術の革新 (早大先進理工) 松方正彦 (14:40~15:10)

座長 松方 正彦 (15:10~15:40)

2G3-38 依頼講演 酸化鉄などの固体触媒を活用した非食用各種バイオマスからの有用化学物質の生成プロセス (北大院工) ○増田隆夫・多湖輝典 (15:10~15:40)

座長 辰巳 敬 (15:40~16:10)

2G3-41 インキュベーションタイム (15:40~16:10)

座長 井上 健二 (16:10~16:40)

2G3-44 口頭D講演 マイクロ波を用いるバイオディーゼル燃料の低温連続製造法 (崇城大工) ○池永和敏・緒方康人・上田祐司・先田業幸 (16:10~16:40)

3月28日午前

多様化する炭素資源にどう対応するか

(9:10~9:20)

3G3-02 オーガナイザー挨拶 (東工大セラ研) 原 亨和 (09:10~09:20)

座長 原 亨和 (9:20~10:20)

3G3-03 基調講演 バイオリファイナリー産業の将来像 (地球環境産業技術研究機構) 湯川英明 (09:20~10:10)

3G3-08 インキュベーションタイム (10:10~10:20)

座長 湯川 英明 (10:20~11:40)

3G3-09 招待講演 未来の石油代替資源としての藻類バイオマス (筑波大院生命環境) 渡邊 信 (10:20~11:00)

3G3-13 依頼講演 砂糖の工業化学原料としての過去・現在と今後, その可能性 (精糖工業会) 斎藤祥治 (11:00~11:30)

3G3-16 インキュベーションタイム (11:30~11:40)

座長 小堀 良浩 (11:40~12:10)

3G3-17 口頭D講演 リグノセルロースの常温全量資源化一成分分離と機能制御の同時プロセス (三重大院生物資源) 船岡正光○青柳充・三亀啓吾・野中 寛 (11:40~12:10)

3月28日午後

座長 小堀 良浩 (13:10~14:30)

3G3-26 招待講演 第三世代液体バイオエネルギーの現状と展望 (京大院エネルギー) 坂 志朗 (13:10~13:50)

3G3-30 依頼講演 エネルギー植物栽培からエタノール製造までの一貫生産プロセス開発 (バイオエタノール革新技術研究組合) 川端秀雄 (13:50~14:20)

3G3-33 インキュベーションタイム (14:20~14:30)

座長 坂 志朗 (14:30~15:50)

3G3-34 招待講演 九州大学における炭素資源研究への取り組み -炭素資源国際教育研究センターの活動を中心として- (九大炭素資源国際教育研究センター) ○林 潤一郎・平島 剛・松下洋介・寺岡靖剛 (14:30~15:10)

3G3-38 依頼講演 カナダオイルサンド事業の概要 (JX 日鉱日石開

発) 磯江芳朗 (15:10~15:40)
3G3-41 インキュベーションタイム (15:40~15:50)

座長 林 潤一郎 (15:50~17:10)
3G3-42 招待講演 光触媒による水を原料に用いた水素製造と二酸化炭素固定化反応 (東理大理・東理大総研光触媒) 工藤昭彦 (15:50~16:30)
3G3-46 依頼講演 二酸化炭素由来脂肪族ポリカーボネートの研究開発動向と実用化への課題 (東理大工) 杉本 裕 (16:30~17:00)
3G3-49 インキュベーションタイム (17:00~17:10)

G4 会場 23号館 23-206

未来を創る環境・資源テクノロジー

3月27日午前

資源を考慮した材料戦略

座長 堀 久男 (9:00~9:50)
2G4-01 口頭C講演 セルロースの熱可塑性および溶融紡糸による繊維化への応用 (東レ繊維研究所) ○鹿野秀和・山田博之・荒西義高・前田裕平 (09:00~09:20)
2G4-03 口頭D講演 ビタミンB₁₂の触媒システムを用いたヒ素の無毒化とレアメタルのリサイクル技術の開発 (日本板硝子研究開発部) ○中村浩一郎 (09:20~09:50)

3月27日午後

(13:00~13:10)

2G4-25 オルガナイザー挨拶 (東大生研) 岡部 徹 (13:00~13:10)

座長 岡部 徹 (13:10~14:00)
2G4-26 基調講演 NdFeB磁石の最新製法と将来展望 (インターメタリックス) 佐川真人 (13:10~14:00)

座長 多田 啓司 (14:00~15:30)
2G4-31 招待講演 レアメタルのリサイクル (産総研環境管理技術) 田中幹也 (14:00~14:40)
2G4-35 インキュベーションタイム (14:40~14:50)
2G4-36 招待講演 Nd磁石から考えるエネルギー・材料戦略 (信越化学工業 磁性材料研) 美濃輪武久 (14:50~15:30)

座長 堀 久男 (15:30~16:50)
2G4-40 招待講演 希土類ハロゲン化物を利用した材料プロセス (京大院工) 宇田哲也 (15:30~16:10)
2G4-44 招待講演 溶融非化物を用いた希土類磁石合金の乾式リサイクル (東北大工) ○竹田 修・中野清貴・佐藤 讓 (16:10~16:50)

(16:50~17:50)

2G4-48 パネルディスカッション 「資源を考慮した材料戦略」パネリスト: 佐川真人・田中幹也・美濃輪武久・宇田哲也・竹田 修、コーディネータ: 岡部 徹 (16:50~17:50)

未来志向の挑戦型バイオケミカルズ

3月28日午前

座長 深瀬 浩一 (11:40~12:20)
3G4-17 口頭C講演 グリーンバイオ・化学・酵素複合法の新展開—高機能けい光分析試薬実用化にむけて (慶大薬) ○東 利則・庄司満・須貝 威 (11:40~12:00)
3G4-19 口頭C講演 酵母由来の機能性脂質「マンノシルエリスリトールリビッド」の用途展開 (産総研環境化学技術) ○福岡徳馬・森田友岳・井村知弘・北本 大 (12:00~12:20)

3月28日午後

座長 須貝 威 (13:30~14:30)
3G4-28 口頭C講演 内外表面が異なる有機ナノチューブの開発: 生体材料や薬剤のためのナノカプセル (産総研ナノチューブ応用研セ) ○増田光俊・丁 武孝・亀田直弘・南川博之・清水敏美 (13:30~13:50)
3G4-30 口頭C講演 自然免疫活性化物質と発酵食品 (阪大院理・鹿児島大院理工・福山物産・味香戦略研究所) ○藤本ゆかり・橋本雅仁・PRADIPTA, Ambara Rachmat・菅 慎太郎・重久 浩・深瀬浩一 (13:50~14:10)
3G4-32 口頭C講演 高効率・高選択的にPCR増幅可能な人工塩基対システムの構築 (理研生命分子システム・タグシクスバイオ・東大院理) ○木本路子・山重りえ・佐藤 旭・三井雅雄・横山茂之・平尾一

郎 (14:10~14:30)

座長 鴻池 敏郎 (14:30~15:30)
3G4-34 基調講演 ペプチド化学を基盤とした統合創薬科学 (京葉大) 木曾良明 (14:30~15:20)
3G4-39 インキュベーションタイム (15:20~15:30)

座長 大橋 武久 (15:30~16:10)
3G4-40 依頼講演 ダイソーのバイオケミカルズ開発 (ダイソーR&D本部研究センター) 雑賀哲行 (15:30~16:00)
3G4-43 インキュベーションタイム (16:00~16:10)

座長 須貝 威 (16:10~16:50)
3G4-44 依頼講演 免疫制御を指向したケミカルグリコバイオロジー (阪大院理) 深瀬浩一 (16:10~16:40)
3G4-47 インキュベーションタイム (16:40~16:50)

(16:50~17:50)

3G4-48 パネルディスカッション 「未来志向の挑戦的バイオケミカルズ」パネリスト: 木曾良明・田口隆久・雑賀哲行、コーディネータ: 須貝 威・上嶋康秀 (16:50~17:50)

3月29日午前

座長 須貝 威 (9:30~10:10)
4G4-04 依頼講演 進化学理論を元に新しい技術と産業を切り開く ~ネオ・モルガン研究所の技術と実績~ (ネオ・モルガン研究所) 藤田朋宏 (09:30~10:00)
4G4-07 インキュベーションタイム (10:00~10:10)

座長 秋吉 一成 (10:10~11:10)
4G4-08 基調講演 バイオ計測が拓く未来の医療 (ソニー先端マテ研) 安田章夫 (10:10~11:00)
4G4-13 インキュベーションタイム (11:00~11:10)

座長 富ヶ原 祥隆 (11:10~12:10)
4G4-14 招待講演 微細藻類ユーグレナによる有用物質生産について (ユーグレナ) 鈴木健吾 (11:10~11:50)
4G4-18 インキュベーションタイム (11:50~12:00)

3月29日午後

座長 渡邊 英一 (13:00~13:50)
4G4-25 招待講演 酒醸造技術をバイオ燃料製造に活かす (月桂冠総合研究所) 秦 洋二 (13:00~13:40)
4G4-29 インキュベーションタイム (13:40~13:50)

座長 富ヶ原 祥隆 (13:50~14:40)
4G4-30 招待講演 セルロソーム生産嫌気性菌*Clostridium cellulovorans*のゲノム解析とバイオマス完全利用への応用 (三重大院生物資源) 田丸浩 (13:50~14:30)
4G4-34 インキュベーションタイム (14:30~14:40)

座長 大橋 武久 (14:40~15:40)
4G4-35 基調講演 自然に学ぶものづくり—高炭素技術が世界を救う?! (産総研関西センター) 田口隆久 (14:40~15:30)
4G4-40 インキュベーションタイム (15:30~15:40)

座長 渡邊 英一 (15:40~16:30)
4G4-41 招待講演 糸状菌の界面活性タンパク質による生分解性プラスチックの新規分解促進機構とその応用 (東北大院農・東北大NICHe・酒類総合研究所) ○阿部敬悦・高橋 徹 (15:40~16:20)
4G4-45 インキュベーションタイム (16:20~16:30)

座長 鴻池 敏郎 (16:30~17:10)
4G4-46 依頼講演 セルロース系バイオマス糖化技術開発の現状 (三菱重工) ○西山理郎・近藤 岳・上原良介・鈴木英夫・寺倉誠一 (16:30~17:00)
4G4-49 インキュベーションタイム (17:00~17:10)

H1 会場 23号館 23-301

低炭素社会を実現する新エネルギー技術

3月28日午前

次世代太陽光発電技術 (9:30~9:40)
3H1-04 オーガナイザー挨拶 (東大先端研) 瀬川浩司 (09:30~09:40)

座長 中崎 城太郎 (9:40~10:50)

- 3H1-05 依頼講演** 高効率光利用のための色素材料設計 (信州大繊維) 木村 睦 (09:40~10:10)
- 3H1-08 口頭C講演** フタロシアニン及びナフタロシアニン色素を用いたハイブリッド形色素増感太陽電池の研究 (九工大生命体工) ○バク ビョンウク・井上隆文・尾込裕平・パンディー シャムステイル・宮本明理・藤田晋介・早瀬修二 (10:10~10:30)
- 3H1-10[#] 口頭C講演** 色素増感太陽電池の色素構造による吸着及び拡散挙動の研究 (九工大生命体工) ○PANDEY, Shyam S.・HAYAT, Azwar・李 根泳・佐藤宏美・尾込裕平・早瀬修二 (10:30~10:50)

座長 木村 睦 (10:50~12:10)

- 3H1-12 依頼講演** 色素増感太陽電池の高効率化に向けた近赤外吸収色素の開発 (東大先端研) 瀬川浩司 (10:50~11:20)
- 3H1-15 依頼講演** レーザー分光でみる色素増感太陽電池の動作機構 (産総研) 加藤隆二 (11:20~11:50)
- 3H1-18 口頭C講演** 色素増感太陽電池のインピーダンス測定に関する諸問題 (同志社大理工) ○足立基齊・谷野 涼・森 康維・内田文生 (11:50~12:10)

3月28日午後

座長 内田 聡 (13:30~14:20)

- 3H1-28 依頼講演** 鎖状スルホンを用いた色素増感太陽電池用電解液の開発 (日本カーリット) ○梁田風人・千葉一美・山口容史 (13:30~14:00)
- 3H1-31 口頭C講演** スルフィド系有機レドックス電解液を用いた色素増感太陽電池の発電特性評価 (第一工業製薬) ○齊藤恭輝・加藤和幸 (14:00~14:20)

座長 宮坂 力 (14:20~15:50)

- 3H1-33 依頼講演** シアノボレートイオン液体を用いた色素増感太陽電池電解液の開発 (メルク) ○川田健太郎・吉崎浩樹・後藤智久・澤田 温・篠原浩美 (14:20~14:50)
- 3H1-36 依頼講演** レドックスポリマーが広げる 有機太陽電池の可能性 (早大理工) 西出宏之 (14:50~15:20)
- 3H1-39 依頼講演** ナノクレイ電解液を用いた高効率色素増感太陽電池 (東大先端研) ○内田 聡・久保貴哉・瀬川浩司 (15:20~15:50)

座長 足立 基齊 (16:00~17:00)

- 3H1-43 口頭D講演** スプレー熱分解薄膜形成法とそれを利用した色素太陽電池製造プロセス (SPD 研究所) ○金子正治・KUMARA, G. R. A.・VIRAJ, J. P.・川崎俊治 (16:00~16:30)
- 3H1-46 依頼講演** 有機EL、有機太陽電池を用いたワイヤレス給電システムの開発 (ローム・OKIセミコンダクタ・NTTドコモ) ○渡辺実・木村俊博・竹野和彦 (16:30~17:00)

3月29日午前

次世代太陽光発電技術

座長 但馬 敬介 (9:00~10:00)

- 4H1-01 依頼講演** 色素増感太陽電池における電子移動プロセス (信州大繊維) 森 正悟 (09:00~09:30)
- 4H1-04 依頼講演** 半導体量子ドットの光励起キャリアダイナミクスと光電変換特性 (電通大先進理工・JST さきがけ) 豊田太郎・沈 青 (09:30~10:00)

座長 森 正悟 (10:00~11:00)

- 4H1-07 依頼講演** 酸化チタンとジシアノメチレン化合物の界面錯体

を用いた有機系太陽電池 (東大先端研) ○藤沢潤一・永田衛男・中崎城太郎・内田 聡・久保貴哉・瀬川浩司 (10:00~10:30)

- 4H1-10 依頼講演** ポリマー薄膜太陽電池の界面構造制御 (東大院工・JST-ERATO) ○但馬敬介・多田亜喜良・歌 彦芳・衛 慶碩・橋本和仁 (10:30~11:00)

座長 小柳津 研一 (11:00~11:40)

- 4H1-13 招待講演** 塗布型有機小分子薄膜太陽電池の開発 (東大院理) 中村栄一 (11:00~11:40)

3月29日午後

座長 瀬川 浩司 (12:30~13:50)

- 4H1-22 基調講演** 21世紀の太陽光発電—希望と責務 (東工大ソリューション研究機構) 黒川浩助 (12:30~13:20)
- 4H1-27 依頼講演** JX 日鉱日石エネルギーにおける太陽光発電技術開発 (JX 日鉱日石エネルギー) ○朝野 剛・劉 承訓・池田 哲・中山慶祐・後藤正直・中村 勉 (13:20~13:50)

座長 早瀬 修二 (13:50~14:40)

- 4H1-30 基調講演** 太陽光発電技術の現状と今後の展望 (豊田工大) 山口真史 (13:50~14:40)

座長 久保 貴哉 (14:40~15:50)

- 4H1-35 依頼講演** 有機・無機増感剤を用いるプリンタブル太陽電池の展望 (桐蔭横浜大院工) 宮坂 力 (14:40~15:10)
- 4H1-38 招待講演** 色素増感太陽電池の高効率化に向けて (九工大生命体工) 早瀬修二 (15:10~15:50)

(16:10~17:10)

- 4H1-44 パネルディスカッション** 「有機系太陽電池の現状と課題」パネリスト: 黒川浩助・山口真史・早瀬修二・宮坂 力、コーディネーター: 瀬川浩司 (16:10~17:10)

H2 会場

23号館 23-304

未来材料

3月28日午前

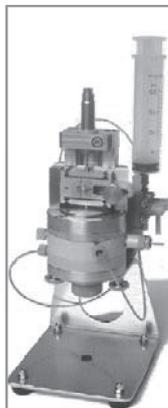
バイオメテック材料の新展開

座長 下村 政嗣 (9:00~10:30)

- 3H2-01 基調講演** バイオロジーとナノテクノロジーのマリアージュ: バイオメテックスから生物規範工学へ (東北大 WPI-AIMR・東北大多元研) 下村政嗣 (09:00~09:50)
- 3H2-06 招待講演** 生物規範光学材料 (浜松医科大) 針山孝彦 (09:50~10:30)

座長 針山 孝彦 (10:30~12:00)

- 3H2-10 依頼講演** 自己組織化によるモスアイ構造の作製 (三菱レイヨン) 魚津吉弘 (10:30~11:00)
- 3H2-13 依頼講演** 海洋生物に学ぶ防汚材料設計 (北大院先端生命) 室崎喬之○龔 劍萍 (11:00~11:30)
- 3H2-16 依頼講演** 生物を規範とする接合材料 (物材機構) 細田奈麻



電気化学膨張計 ECD-1 Electrochemical Dilatometer

ECD-1は、サブミクロンメートルの範囲まで、電極のチャージで引き起こされた変形 (膨張と収縮) を測定する研究用の測定器です。

<ECD-1の主な特徴>

- ・50nm分解能を備えたフルレンジ500 μ mのLVDTセンサー有り。
- ・少量のセル容量 (約3mlの電解質質量)
- ・広い温度範囲 (-20°C~+80°C)
- ・etc...是非お問い合わせ下さいませ。

☆リチウムイオン・バッテリーや他の挿入タイプ電極の研究のために特別にドイツで開発されました!
水系の電解質溶液と同様に有機電解質溶液でも使用できます。



湿式比表面積測定装置
(Acorn area)
粒子比表面積測定への新しいアプローチ! 新製品です!
デモ測定受付始めました。

お問い合わせ



株式会社 ミツワフロンテック

東京支社 TEL 03-5823-0351
Email: info@mitsuwa.co.jp

絵 (11:30~12:00)

3月28日午後

座長 細田 奈麻絵 (13:00~14:40)

- 3H2-25 依頼講演** メカノタクシス：生物規範細胞操作材料の設計 (九大先導研) ○木戸秋 悟・河野喬仁・坂下寛幸 (13:00~13:30)
- 3H2-28 招待講演** 生物規範感覚システム：昆虫の化学センシングを規範にして (神戸大院理) 尾崎まみこ (13:30~14:10)
- 3H2-32 依頼講演** ネムリユスリカに学ぶ極限環境システム (農業生物資源研究所) 奥田 隆 (14:10~14:40)

座長 木戸秋 悟 (14:40~16:10)

- 3H2-35 依頼講演** 生物規範飛行システム (千葉大院工) 劉 浩 (14:40~15:10)
- 3H2-38 依頼講演** 生物規範トライボロジーと自動車部品 (トヨタ自動車・東北大) ○鈴木 厚・海道昌孝・下村政嗣・藪 浩・平井悠司 (15:10~15:40)
- 3H2-41 依頼講演** ナノインプリントによるバイオミメティクスデバイス開発への貢献の可能性 (日立材料研) 宮内昭浩 (15:40~16:10)

座長 龔 劍萍 (16:10~17:40)

- 3H2-44 依頼講演** 生物規範はつ水表面の創製 (産総研サステナブルマテリアル) 穂積 篤 (16:10~16:40)
- 3H2-47 依頼講演** 生物規範親水材料 (INAX 総合技術研究所) 井須紀文 (16:40~17:10)
- 3H2-50 依頼講演** オパールフォトリソニック結晶によるチューナブル構造色材料の創成 (物材機構) 不動寺 浩 (17:10~17:40)

座長 細田 奈麻絵 (17:40~18:20)

- 3H2-53 口頭C講演** 新規な色素配列材料としてのポルフィリンシクロデキストリン包接結晶 (九州先端科学技術研究所) ○土屋陽一・山野昭人・白木智丈・佐田和己・新海征治 (17:40~18:00)
- 3H2-55 口頭C講演** 超撥水性発現を指向したマイクロナノ微細構造膜のワンステップコーティング (川村理研) ○加藤慎治・佐藤彩矢 (18:00~18:20)

3月29日午前

バイオミメティック材料の新展開

座長 穂積 篤 (9:00~10:40)

- 4H2-01 招待講演** バイオミメティクスと植物保護 (京大院農・森林総研・東大先端研) ○森 直樹・奥本 裕・三瀬和之・高梨琢磨・光野秀文・神崎亮平 (09:00~09:40)
- 4H2-05 依頼講演** バイオミメティック・データベースとしての昆虫インベントリー (国立科学博物館) 野村周平 (09:40~10:10)
- 4H2-08 依頼講演** バイオミメティック・データベースとしての魚類インベントリー (国立科学博物館) 篠原現人 (10:10~10:40)

座長 森 直樹 (10:40~12:00)

- 4H2-11 依頼講演** バイオミメティック・データベースとオントロジー (阪大産研) 古崎晃司 (10:40~11:10)
- 4H2-14 基調講演** 自然のすごさを賢く活かすものづくり (東北大院環境) 石田秀輝 (11:10~12:00)

3月29日午後

座長 大園 拓哉 (13:00~14:40)

- 4H2-25 招待講演** 自然に学ぶものづくりと企業活動 (積水インテグ

レーテッドリサーチ) 佐野健三 (13:00~13:40)

- 4H2-29 依頼講演** 生物規範技術の包括的ガバナンス (産総研ナノシステム) ○阿多誠文・関谷瑞木 (13:40~14:10)
- 4H2-32 依頼講演** バイオ TRIZ と生物規範創発工学 (新潟大工) 山内健 (14:10~14:40)

座長 小林 元康 (14:40~16:10)

- 4H2-35 依頼講演** 自己組織化プロセスの発生遺伝学的検討 (北教大札幌) 木村賢一 (14:40~15:10)
- 4H2-38 依頼講演** 数理科学とバイオミメティクス (東北大院情報) 久保英夫 (15:10~15:40)
- 4H2-41 依頼講演** 自己組織化マイクロリンクルと応用 (産総研ナノシステム) 大園拓哉 (15:40~16:10)

座長 下村 政嗣 (16:10~17:00)

- 4H2-44 依頼講演** 生体の水潤滑を規範としたポリマーブラシの設計と摩擦特性 (JST ERATO・九大先導研) 小林元康・高原 淳 (16:10~16:40)
- 4H2-47 口頭C講演** 柔軟性と透明性を持つ配向ラポナイト-PEG 複合フィルム (東農大院工・理研基幹研) ○愛澤和人・敷中一洋・藤井 望・長田義仁・重原淳孝 (16:40~17:00)

H3 会場

23号館 23-305

未来材料

3月28日午前

次世代フォトニクス材料

(10:30~10:40)

- 3H3-10** 開会の辞 (旭化成) 青木謙介 (10:30~10:40)

座長 田中 爾文 (10:40~11:30)

- 3H3-11 基調講演** Face-to-Face コミュニケーションのためのフォトニクスポリマー (慶大理工) 小池康博 (10:40~11:30)

座長 小池 康博 (11:30~12:10)

- 3H3-16 招待講演** 次世代光インターコネクトデバイス用フォトニクスポリマー (東北大多元研) ○杉原興浩・戒能俊邦 (11:30~12:10)

3月28日午後

座長 小池 康博 (13:30~14:50)

- 3H3-28 依頼講演** 全フッ素 GI 型プラスチック光ファイバの開発と応用展開 (旭硝子) 田中爾文 (13:30~14:00)
- 3H3-31 依頼講演** 部分塩素化ポリマーを用いた GI 型光ファイバの開発 (積水化学工業) 中尾亮介 (14:00~14:30)
- 3H3-34 口頭C講演** ポリエステル型光駆動アクチュエータの開発 (富士フィルム) ○保田貴康・西川尚之・岡崎正樹 (14:30~14:50)

座長 杉原 興浩 (15:10~16:30)

- 3H3-38 招待講演** 光学用高分子液晶フィルム (JX 日鉱日石エネルギー) 豊岡武裕 (15:10~15:50)
- 3H3-42 招待講演** LCD 用光学補償フィルムの材料設計と最新動向

フロー式水素化反応装置

株式会社 ワイエムシー



KeyChem[®]-H [キーケム エイチ]

ボタンひとつで水素化反応が可能!!

- ・触媒の濾別不要 (専用の触媒カラムを使用)
- ・簡単操作による水素化を実現
- ・安全で新しい水素供給方式を採用

¥3,800,000~

水素源に圧力容器に該当しない
水素吸蔵合金キャニスターを使用

企業展示ブースにて
実機展示中!!
是非ご覧下さい。

キーボードケミストリー 検索

株式会社 ワイエムシー 〒600-8106 京都市下京区五条通烏丸西入醍醐町284 YMC烏丸五条ビル 4F
国内営業部 TEL.(075)342-4522 FAX.(075)342-4550 mail nb@ymc.co.jp



(カネカテクノリサーチ) ○藤井貞男・川端裕輔 (15:50~16:30)

座長 多加谷 明広 (16:30~17:40)

3H3-46 招待講演 ROMP触媒によるフォトレジスト材料の開発 (三井化学新材料開発センター) 須永忠弘 (16:30~17:10)

3H3-50 依頼講演 コレステリック液晶を用いたフォトニック結晶の省エネルギー液晶ディスプレイ(e²-LCD)への応用 (メルク アドバンス テクノロジーズ R&D) ○鈴木成嘉・藤原尚哉 (17:10~17:40)

H4 会場

23号館 23-306

未来材料

3月28日午前

超分子素子を目指したプログラミング

(9:20~9:30)

3H4-03 趣旨説明 (東工大資源研) 山元公寿 (09:20~09:30)

座長 山元 公寿 (9:30~10:20)

3H4-04 基調講演 配位プログラミングによる化学素子へのアプローチ (東大院理) 西原 寛 (09:30~10:20)

座長 有賀 克彦 (10:20~11:30)

3H4-09 招待講演 超分子ヒドロゲルのバイオ素子への展開 (京大院工・CREST/JST) 浜地 格 (10:20~11:00)

3H4-13 依頼講演 ヘムタンパク質階層プログラミング:革新的バイオデバイスへの挑戦 (阪大院工) ○小野田 晃・林 高史 (11:00~11:30)

座長 小野田 晃 (11:30~12:10)

3H4-16 招待講演 分子からマクロへ・マクロから分子へ:超分子階層構造と Hand-Operation Nanotechnology (物材機構・WPI-MANA) 有賀克彦 (11:30~12:10)

3月28日午後

座長 樋口 昌芳 (14:00~15:10)

3H4-31 招待講演 ブロックコポリマーテンプレート工学:ナノ構造とナノ機能のプログラミング (東工大資源研) 彌田智一 (14:00~14:40)

3H4-35 依頼講演 電子・光・磁気機能を発現する超分子集合体の構築 (筑波大院数理物質) 山本洋平 (14:40~15:10)

座長 山本 洋平 (15:10~16:20)

3H4-38 招待講演 応用を指向した有機/金属ハイブリッドポリマーの配位プログラミング (物材機構・JST-CREST) 樋口昌芳 (15:10~15:50)

3H4-42 依頼講演 分子デバイスを創る電極からのプログラム・分子からのプログラム (阪大産研・JST さきがけ) 谷口正輝 (15:50~16:20)

座長 谷口 正輝 (16:20~17:30)

3H4-45 招待講演 単電子エレクトロニクスへのナノ粒子科学からのアプローチ (筑波大院数理物質・JST-CREST) 寺西利治 (16:20~17:00)

3H4-49 依頼講演 導電性高分子の自己組織化ナノワイヤー・ナノファイバー1本レベルの電気物性 (東農大院 BASE) 下村武史 (17:00~17:30)

H5 会場

23号館 23-307

微細パターン化技術の多様化-相克と共棲-

3月28日午前

自己組織化による微細パターン形成

(9:50~10:00)

3H5-06 オーガナイザー挨拶 (名大院工) 関 隆広 (09:50~10:00)

座長 関 隆広 (10:00~12:00)

3H5-07 基調講演 Dewetting 現象を利用したパターン化とフォトニクスへの展開 (千歳科技大) ○オラフ カートハウス・清野裕司 (10:00~10:50)

3H5-12 招待講演 超微細インクジェットの開発と応用 (産総研ナノシステム) 村田和広 (10:50~11:30)

3H5-16 依頼講演 無機薄膜の表面パターン化と配向化 (東大院工) ○西村達也・坂本 健・加藤隆史 (11:30~12:00)

3月28日午後

座長 早川 晃鏡 (13:00~14:40)

3H5-25 招待講演 金属ナノ粒子・微粒子の合成と配列 (北大院工) 米澤 徹 (13:00~13:40)

3H5-29 依頼講演 光物質移動によるレリーフ形成の新展開 (横国大院工) 生方 俊 (13:40~14:10)

3H5-32 依頼講演 階層構造をもつ粒子作成とメタマテリアルへの展開 (東北大多元研・JST さきがけ) 藪 浩 (14:10~14:40)

座長 米澤 徹 (14:50~16:00)

3H5-36 招待講演 シルセスキオキサンを導入したブロック共重合体の開発と精密パターン化 (東工大院理工) 早川晃鏡 (14:50~15:30)

3H5-40 依頼講演 有機無機ハイブリッド材料の配向操作とレリーフ形成 (名大院工) 関 隆広 (15:30~16:00)

3月29日午前

次世代リソグラフィ

(9:00~9:10)

4H5-01 オーガナイザー挨拶 (阪大産研) 古澤孝弘 (09:00~09:10)

座長 古澤 孝弘 (9:10~10:40)

4H5-02 基調講演 高分子レジストから分子レジストへ:-Noria 誘導体を含む最近の EUV レジスト材料の発展- (神奈川大工) 西久保忠臣 (09:10~10:00)

4H5-07 招待講演 EUV リソグラフィーの実用化に向けて(EUV 露光装置の最新開発状況) (エーエスエムエル・ジャパン) 宮崎順二 (10:00~10:40)

座長 工藤 宏人 (10:40~12:10)

4H5-11 依頼講演 「MNC2010 グリーンリソグラフィシンポジウム」から見る低コスト、高効率リソグラフィの方向性 (ルネサスエレクトロニクス) 永原誠司 (10:40~11:10)

4H5-14 依頼講演 次世代リソグラフィ用材料の開発状況 (東京応化工業 開発本部 次世代材料開発部) 佐藤和史 (11:10~11:40)

4H5-17 依頼講演 EUV リソグラフィー用レジスト下層膜の開発 (日産化学工業 電子材料研究所) ○坂本力丸・何 邦慶・藤谷徳昌・遠藤貴文・大西竜慈 (11:40~12:10)

3月29日午後

座長 永原 誠司 (14:40~15:50)

4H5-35 招待講演 EUV レジスト材料とプロセス開発 (半導体先端テクノロジーズ) 井谷俊郎 (14:40~15:20)

4H5-39 依頼講演 EUV リソグラフィー用材料の開発 -現状と今後- (JSR 精密電子研究所) 志水 誠 (15:20~15:50)

座長 太田 克 (15:50~17:00)

4H5-42 招待講演 EUV リソグラフィー研究開発センターにおけるリソグラフィー開発 (兵庫県高度産業科学技術研) ○渡邊健夫・原田哲男・木下博雄 (15:50~16:30)

4H5-46 依頼講演 ポリマー-PAG 型 EUV レジスト材料の開発 (富士フイルム) 樽谷晋司 (16:30~17:00)

H6 会場

23号館 23-309

微細パターン化技術の多様化-相克と共棲-

3月28日午前

ナノインプリント

(9:50~10:00)

3H6-06 オーガナイザー挨拶 (兵庫県高度産業科学技術研) 松井真二 (09:50~10:00)

座長 廣島 洋 (10:00~12:00)

3H6-07 基調講演 ナノインプリントの最新動向 (兵庫県高度研・JST-CREST) 松井真二 (10:00~10:50)

3H6-12 招待講演 フィルムモールドを用いた高輝度 LED 用ナノインプリントプロセス装置 (東芝機械) 後藤博史 (10:50~11:30)

3H6-16 依頼講演 ロールナノインプリントによるモスアイ型反射防止膜の製造 (三菱レイヨン) 魚津吉弘 (11:30~12:00)

3月28日午後

座長 中川 勝 (13:00~15:00)

- 3H6-25 招待講演** ナノインプリントモールド (HOYA R&D センター) 流川 治 (13:00~13:40)
3H6-29 招待講演 光ナノインプリント (産総研マイクロシステム研究センター・JST-CREST) 廣島 洋 (13:40~14:20)
3H6-33 招待講演 ナノインプリントの物理化学とシミュレーション (阪府大院工) 平井義彦 (14:20~15:00)

座長 平井 義彦 (15:10~16:20)

- 3H6-38 招待講演** 光ナノインプリントにおける界面機能分子制御 (東北大多元研) 中川 勝 (15:10~15:50)
3H6-42 依頼講演 ナノインプリント材料 (ダイセル化学工業) ○湯川隆生・竹内秀一・伊吉就三・三宅弘人 (15:50~16:20)

3月29日午後

(13:00~14:30)

- 4H6-25 パネルディスカッション** 「微細パターン化技術の多様化-相克と共棲-」パネリスト: 永原誠司・古澤孝弘・松井真二・平井義彦・オラフ カートハウス・関 隆広、パネルディスカッションオーガナイザー: 大西廉伸 (13:00~14:30)

H8 会場

23号館 23-311

低炭素社会を実現する新エネルギー技術

3月27日午後

次世代蓄電技術

(13:00~13:10)

- 2H8-25** オーガナイザー挨拶 (京大院工) 安部武志 (13:00~13:10)

座長 安部 武志 (13:10~14:40)

- 2H8-26 基調講演** リチウムイオン二次電池産業の現状と LIBTEC の活動 (技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター) 吉野 彰 (13:10~14:00)
2H8-31 招待講演 日産リーフの開発 (日産自動車) 宮本丈司 (14:00~14:40)

座長 藤波 達雄 (14:40~15:40)

- 2H8-35 依頼講演** リチウム電池電極反応 -モデル系による反応解析- (東工大院総理工・原子力機構) ○菅野了次・平山雅章・田村和久 (14:40~15:10)
2H8-38 依頼講演 リチウム二次電池用負極カーボン単粒子の電気化学特性 (横国大院工) 獨古 薫 (15:10~15:40)

座長 菅野 了次 (15:40~16:30)

- 2H8-41[†] 口頭C講演** 酸化ナノ粒子の液相マイクロ波合成とリチウム電池特性 (産総研) ○吉永昌史・木嶋倫人・若原園子・秋本順二 (15:40~16:00)
2H8-43 口頭D講演 三次元全固体リチウム二次電池の作製 (首都大) ○金村聖志・寿 雅史・大曾根 遼・棟方裕一 (16:00~16:30)

座長 獨古 薫 (16:30~17:30)

- 2H8-46 依頼講演** ホウ素化合物を用いる高電圧蓄電池用電解液 (静岡大工) 藤波達雄 (16:30~17:00)
2H8-49 依頼講演 リチウム系電池の長期運用性に係る評価-小惑星探査機「はやぶさ」運用からの知見について- (宇宙航空研究開発機構) 曾根理嗣 (17:00~17:30)

3月28日午前

燃料電池・水素エネルギー技術

(9:30~9:40)

- 3H8-04** オーガナイザー挨拶 (同志社大理工) 稲葉 稔 (09:30~09:40)

座長 稲葉 稔 (9:40~10:40)

- 3H8-05 基調講演** 新たな材料が切り開く燃料電池 -脱白金電極を目指して- (横国大院工) 太田健一郎 (09:40~10:30)
3H8-10 インキュベーションタイム (10:30~10:40)

座長 今井 英人 (10:40~12:00)

- 3H8-11 依頼講演** 燃料電池自動車と電極触媒の開発 (トヨタ自動車) ○河村哲雄・兒玉智己・水谷宣明 (10:40~11:10)

- 3H8-14** インキュベーションタイム (11:10~11:20)

- 3H8-15 依頼講演** カーボン担体の化学修飾による PEFC 用高耐久性電極触媒の開発 (大分大工) 衣本太郎 (11:20~11:50)

- 3H8-18** インキュベーションタイム (11:50~12:00)

3月28日午後

座長 秋葉 悦男 (13:00~15:10)

- 3H8-25 基調講演** 材料・エネルギー技術革新をもたらす炭素-カーボンアロイ触媒-(北陸先端大・東工大・原子力機構・東大) ○寺倉裕之・HUANG, Shen-Feng・HOU, Zhufeng・WANG, Xianlong・難波江裕太・黒木重樹・柿本雅明・宮田清蔵・池田隆司・原田慈久・尾嶋正治・齊木幸一朗 (13:00~13:50)

- 3H8-30** インキュベーションタイム (13:50~14:00)

- 3H8-31 招待講演** 放射光を用いた燃料電池触媒の in situ リアルタイム構造解析 (NEC グリーン研) 今井英人 (14:00~14:40)

- 3H8-35** インキュベーションタイム (14:40~14:50)

- 3H8-36 口頭C講演** 負極および正極材料として炭素繊維電極を用いた燃料電池の構築 (創価大院工) ○前田英勝・岩村謙一・長本英俊 (14:50~15:10)

座長 衣本 太郎 (15:20~17:10)

- 3H8-39 依頼講演** 自動車用燃料電池電極触媒の評価解析 (日産自動車総研) 菅原生豊 (15:20~15:50)

- 3H8-42** インキュベーションタイム (15:50~16:00)

- 3H8-43 招待講演** 水素の輸送貯蔵技術とその展望 (九大院工) 秋葉悦男 (16:00~16:40)

- 3H8-47** インキュベーションタイム (16:40~16:50)

- 3H8-48 口頭C講演** X線CT法による CFRP 製水素貯蔵容器の内部構造の解明 (JX 日鉱日石エネルギー中央研試験分析セ) ○佐藤瑠栄・石井光男・小西友弘・宮城 伸 (16:50~17:10)

P 会場

13号館 13-101

ATP ポスター

3月27日午前

(12:30~14:00)

微細パターン化技術の多様化-相克と共棲-

- 2PB-001** 多官能架橋型ポリマーを利用した有機 Low-k 材料の開発 (住友バークライト基礎研) ○小松聡子・中谷浩司・平井美帆子・多田昌弘

未来材料

- 2PB-002** 電解質ゲル化剤の開発と展開 (産総研ナノシステム) ○吉田勝・長沢順一

- 2PB-003** 両親媒性オリゴ乳酸-神経再生性ペプチド複合体によるポリ乳酸ナノファイバーの機能化と神経誘導管への応用 (国立循環器病研究センター研究所) ○柿木佐知朗・山岡哲二

- 2PB-004** 有機ナノチューブの大量製造と機能化 (産総研ナノチューブ応用研セ) ○小木曾真樹・青柳 将・浅川真澄・清水敏美

未来を創る環境・資源テクノロジー

- 2PB-005** 酵素反応のためのメソポーラス材料固定反応器 (産総研) ○片岡 祥・竹内康隆・遠藤 明

- 2PB-006** 新規材料探索の時間短縮・資源削減を実現させるための統合型分子設計支援システム MolWorks (ビヨンド・コンピューティング) ○田島澄彦・長嶋雲兵・千田範夫・秋山 泰・西 克也

- 2PB-007** 粉流体試薬を利用した超安価な目視法 NO₂ 大気汚染測定器をはじめとする種々の大気汚染簡易測定器 (自宅) ○天谷和夫

- 2PB-008** 磁性ナノ粒子固定型酸化オスミウム触媒を用いたオレフィンのジドロキシ化反応 (産総研・明大理工) 藤田賢一○井上賢亮・土本晃久・安田弘之

- 2PB-009** マイクロ波を用いるバイオディーゼル燃料の低温連続製造法 (崇城大工) ○池永和敏・緒方康人・上田祐司・先田業幸

- 2PB-010** 産官学連携を基盤とする新規水処理技術の開発(1)-高機能・高安定な次亜塩素酸水の調製とその応用- (首都大産技高専品川) ○田村健治

- 2PB-011** 産官学連携を基盤とする新規水処理技術の開発(2)-ナノバブル水の調製とその応用- (首都大産技高専品川) 清水一幸・朝川敏明・萩原忠彦・鈴木善乃里○田村健治

- 2PB-012** イオン半導体および関連技術を基盤とする環境調和型製品の開発と応用 (イオン化学・首都大産技高専品川) 苅野 仁○田村健治

- 2PB-013** ビタミン B₁₂ の触媒システムを用いたヒ素の無毒化とレアメ

タルのリサイクル技術の開発（日本板硝子研究開発部）○中村浩一郎
2PB-014 環境適合型自動炭化装置由来の炭化物の屋上緑化プラントへの応用（首都大産技高専品川）○田村健治
2PB-015 リグノセルロースの常温全量資源化一成分分離と機能制御の同時プロセス（三重大院生物資源）船岡正光○青柳 充・三亀啓吾・野中 寛

タルのリサイクル技術の開発（日本板硝子研究開発部）○中村浩一郎
3PB-014 環境適合型自動炭化装置由来の炭化物の屋上緑化プラントへの応用（首都大産技高専品川）○田村健治
3PB-015 リグノセルロースの常温全量資源化一成分分離と機能制御の同時プロセス（三重大院生物資源）船岡正光○青柳 充・三亀啓吾・野中 寛

低炭素社会を実現する新エネルギー技術

- 2PB-016[†]** 酸化ナノ粒子の液相マイクロ波合成とリチウム電池特性（産総研）○吉永昌史・木嶋倫人・若原園子・秋本順二
- 2PB-017[†]** トンネル構造をもつリチウム電池電極材料の合成と電池特性（産総研）○坂尾光正・木嶋倫人・奥谷 猛・秋本順二
- 2PB-018** 放射線グラフト重合を利用したアニオン交換型電解質膜の開発（原子力機構）○浅野雅春・越川 博・八巻徹也・前川康成・山口進・山本和矢・朝澤浩一郎・山田浩次・田中裕久

低炭素社会を実現する新エネルギー技術

- 3PB-016[†]** 酸化ナノ粒子の液相マイクロ波合成とリチウム電池特性（産総研）○吉永昌史・木嶋倫人・若原園子・秋本順二
- 3PB-017[†]** トンネル構造をもつリチウム電池電極材料の合成と電池特性（産総研）○坂尾光正・木嶋倫人・奥谷 猛・秋本順二
- 3PB-018** 放射線グラフト重合を利用したアニオン交換型電解質膜の開発（原子力機構）○浅野雅春・越川 博・八巻徹也・前川康成・山口進・山本和矢・朝澤浩一郎・山田浩次・田中裕久

未来志向の挑戦型バイオケミカルズ

- 2PB-019** 低コストな活性酸素の蛍光定量法（静岡大工）○平川和貴
- 2PB-020** バイオプラスチック生産菌 *Ralstonia eutropha* 遺伝子組換え株による植物油からの共重合ポリヒドロキシアルカン酸生成（東工大院生命理工）○福居俊昭・御船 淳・折田和泉・中村 聡
- 2PB-021** 異分野融合技術によるキチン系バイオマスの有効活用（一関高専）○長田光正・三浦千佳・中川裕子・貝原巳樹雄・二階堂 満・戸谷一英
- 2PB-022** 酵母由来の機能性脂質「マンノシルエリスリトールリピッド」の用途展開（産総研環境化学技術）○福岡徳馬・森田友岳・井村知弘・北本 大
- 2PB-023** 高機能性蛍光磁性ビーズを利用する生体分子の高速・高精度検出システムの開発（東工大院生命理工・東工大ソリューション研究機構）○坂本 聡・河田慎太郎・内藤靖之・望月勇輔・岸 寛・畠山士・半田 宏
- 2PB-024** ONIOM 法によるローヤルゼリーの薬理作用に関する理論研究（神奈川大理）○小竹 充・松原世明
- 2PB-025** 主要組織適合遺伝子複合体(MHC)分子の構造相同性データマイニング解析（産総研）○和泉 博
- 2PB-026** アミノ基接着プローブの開発による高効率バイオコンジュゲーション法（阪大院理・キシダ化学・ハイベップ研究所）田中克典○中山郁理・SIWU, Eric R. O.・小山幸一・平田晃義・大山貴史・軒原清史・深瀬浩一

未来志向の挑戦型バイオケミカルズ

- 3PB-019** 低コストな活性酸素の蛍光定量法（静岡大工）○平川和貴
- 3PB-020** バイオプラスチック生産菌 *Ralstonia eutropha* 遺伝子組換え株による植物油からの共重合ポリヒドロキシアルカン酸生成（東工大院生命理工）○福居俊昭・御船 淳・折田和泉・中村 聡
- 3PB-021** 異分野融合技術によるキチン系バイオマスの有効活用（一関高専）○長田光正・三浦千佳・中川裕子・貝原巳樹雄・二階堂 満・戸谷一英
- 3PB-022** 酵母由来の機能性脂質「マンノシルエリスリトールリピッド」の用途展開（産総研環境化学技術）○福岡徳馬・森田友岳・井村知弘・北本 大
- 3PB-023** 高機能性蛍光磁性ビーズを利用する生体分子の高速・高精度検出システムの開発（東工大院生命理工・東工大ソリューション研究機構）○坂本 聡・河田慎太郎・内藤靖之・望月勇輔・岸 寛・畠山士・半田 宏
- 3PB-024** ONIOM 法によるローヤルゼリーの薬理作用に関する理論研究（神奈川大理）○小竹 充・松原世明
- 3PB-025** 主要組織適合遺伝子複合体(MHC)分子の構造相同性データマイニング解析（産総研）○和泉 博
- 3PB-026** アミノ基接着プローブの開発による高効率バイオコンジュゲーション法（阪大院理・キシダ化学・ハイベップ研究所）田中克典○中山郁理・SIWU, Eric R. O.・小山幸一・平田晃義・大山貴史・軒原清史・深瀬浩一

3月28日午前

(12:30~14:00)

微細パターン化技術の多様化-相克と共棲-

- 3PB-001** 多官能架橋型ポリマーを利用した有機 Low-k 材料の開発（住友ベークライト基礎研）○小松聡子・中谷浩司・平井美帆子・多田昌弘

未来材料

- 3PB-002** 電解質ゲル化剤の開発と展開（産総研ナノシステム）○吉田勝・長沢順一
- 3PB-003** 両親媒性オリゴ乳酸-神経再生性ペプチド複合体によるポリ乳酸ナノファイバーの機能化と神経誘導管への応用（国立循環器病研究センター研究所）○柿木佐知朗・山岡哲二
- 3PB-004** 有機ナノチューブの大量製造と機能化（産総研ナノチューブ応用研セ）○小木貞真樹・青柳 将・浅川真澄・清水敏美

未来を創る環境・資源テクノロジー

- 3PB-005** 酵素反応のためのメソポーラス材料固定反応器（産総研）○片岡 祥・竹内康隆・遠藤 明
- 3PB-006** 新規材料探索の時間短縮・資源削減を実現させるための統合型分子設計支援システム MolWorks（ビヨンド・コンピューティング）○田島澄恵・長嶋雲兵・千田範夫・秋山 泰・西 克也
- 3PB-007** 粉流体試薬を利用した超安価な目視法 NO₂ 大気汚染測定器をはじめとする種々の大気汚染簡易測定器（自宅）○天谷和夫
- 3PB-008** 磁性ナノ粒子固定型酸化オスミウム触媒を用いたオレフィンのジヒドロキシル化反応（産総研・明大理工）藤田賢一○井上賢亮・土本晃久・安田弘之
- 3PB-009** マイクロ波を用いるバイオディーゼル燃料の低温連続製造法（崇城大工）○池永和敏・緒方康人・上田祐司・先田業幸
- 3PB-010** 産官学連携を基盤とする新規水処理技術の開発(1)-高機能・高安定な次亜塩素酸水の調製とその応用-（首都大産技高専品川）○田村健治
- 3PB-011** 産官学連携を基盤とする新規水処理技術の開発(2)-ナノバブル水の調製とその応用-（首都大産技高専品川）清水一幸・朝川敏明・萩原忠彦・鈴木善乃里○田村健治
- 3PB-012** イオン半導体および関連技術を開発する環境調和型製品の開発と応用（イオン化学・首都大産技高専品川）荻野 仁○田村健治
- 3PB-013** ビタミン B₁₂ の触媒システムを用いたヒ素の無毒化とレアメ